

注3 **大学番号：国041**

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

信州大学大学院 総合理工学研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人信州大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部経営企画課

職名・氏名 主査 イチカサ 市川里美

電話番号 0263-37-2122

（夜間） 0263-37-2122

F A X 0263-37-3484

e-mail kikaku_gakuji@gm.shinshu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

総合理工学研究科

＜理学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	4
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	25

＜工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	29
2. 授業科目の概要	33
3. 施設・設備の整備状況、経費	42
4. 既設大学等の状況	43
5. 教員組織の状況	47
6. 留意事項等に対する履行状況等	52
7. その他全般的事項	53

＜繊維学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	56
2. 授業科目の概要	60
3. 施設・設備の整備状況、経費	67
4. 既設大学等の状況	68
5. 教員組織の状況	72
6. 留意事項等に対する履行状況等	80
7. その他全般的事項	81

＜農学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	84
2. 授業科目の概要	88
3. 施設・設備の整備状況、経費	93
4. 既設大学等の状況	94
5. 教員組織の状況	98
6. 留意事項等に対する履行状況等	103
7. その他全般的事項	104

＜生命医工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	107
2. 授業科目の概要	111
3. 施設・設備の整備状況、経費	117
4. 既設大学等の状況	118
5. 教員組織の状況	122
6. 留意事項等に対する履行状況等	128
7. その他全般的事項	129

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人信州大学

(2) 大学名

信州大学大学院

(3) 大学の位置

〔松本キャンパス〕（大学本部）〒390-8621
長野県松本市旭3丁目1番1号
〔長野（工学）キャンパス〕 〒380-8553
長野県長野市若里4丁目17番1号
〔上田キャンパス〕 〒386-8567
長野県上田市常田3丁目15番1号
〔伊那キャンパス〕 〒399-4598
長野県上伊那郡南箕輪村8304

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハマダ ケニロ) 濱田 州博 (平成27年10月)		
研究科長	(オキ スミ) 尾関 寿美男 (平成28年4月)	(イノ ヌオ) 市野 隆雄 (平成29年4月)	任期満了に伴う交代 平成29年4月1日就任 (29)
専攻長	(オキ スミ) 尾関 寿美男 (平成28年4月)	(イノ ヌオ) 市野 隆雄 (平成29年4月)	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
総合理工学研究科 理学専攻 修士(理学)	理学分野	2 年	75 人	150 人	基礎となる学部等 理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成28年度	平成29年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	75 (若干人) [若干人]	75 (若干人) [若干人]					0.85倍 0.73倍	
志願者数	62 (0)(-) [0][-]	- (-) [-]	87 (0)(-) [0][-]					
受験者数	60 (0)(-) [0][-]	- (-) [-]	86 (0)(-) [0][-]					
合格者数	56 (0)(-) [0][-]	- (-) [-]	83 (0)(-) [0][-]					
B 入学者数	55 (0)(-) [0][-]	- (-) [-]	74 (0)(-) [0][-]					
入学定員超過率 B/A	0.73		0.98					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。

- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とそれを合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	55 [—] (—)	0 [—] (—)	74 [—] (—)	0 [—] (—)			
2年次	/		54 [—] (—)	0 [—] (—)			
計	55 [—] (—)		128 [—] (—)				

- (注)
- ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	55 人	1 0 人	平成28年度	1 0 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	1.81 0 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成年度	人	人		
			平成年度	人	人		
平成29年度 入学者	74 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成年度	人	人		
			平成年度	人	人		
合 計	129 55 人	1 0 人					0.77 0 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合理工学研究科 理学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	Introduction to Modern Astrophysics	1・2前		2								兼1
	MOT特論	1・2通		2								兼1
	産学連携特別講義	1・2通		2								兼1
	国際連携特別講義I	1・2通		1								兼1
	国際連携特別講義II	1・2通		1								兼1
	科学英語	1・2後		2								兼1
	大学院と社会	1・2前		2								兼1
	臨床医学概論	1・2後		2								兼14 兼5 教員配置見直しのため (28)
	研究者倫理特別講義 (CITI-Japan&講義)	1・2前	2									兼2 兼1 教員配置見直しのため (28)
	科学技術政策特論	1・2後		2								兼2 兼1 教員配置見直しのため (28)
	学外特別講義 (長期)	1・2通		2								兼1
学外特別実習 (長期)	1・2通		2								兼1	
科専 目通攻	先端科学特別講義A	1後		2		6	8 5	+	2			教員の昇進のため (28)
	先端科学特別講義B	1後		2		13 12 10	2 3 5					教員の昇進のため (29) 教員の昇進のため (28)
数学分野	群論と対称性	1・2前		2		1	1	+				教員の昇進のため (28)
	多元環論	1・2後		2		1	1		+			教員の昇進のため (28)
	代数的トポロジー	1・2前		2		2						
	微分トポロジー	1・2後		2		1	3 2		+			教員の昇進のため (28)
	関数環論	1・2前		2		1						
	偏微分方程式論	1・2後		2		2 1						教員配置見直しのため (29)
	数理現象学	1・2前		2			2					
	確率解析学	1・2後		2			2					
	代数学特論	1前		2		1	2	+	+			教員の昇進のため (28)
	幾何学特論	1前		2			2	+	+			教員の昇進のため (28)
	解析学特論	1前		2		3			1			教員配置見直しのため (29)
	数理科学特論	1前		2			4					
	先端代数学 I	2前		2		1	2	+	+			教員の昇進のため (28)
	先端幾何学 I	2前		2			2	+	+			教員の昇進のため (28)
	先端解析学 I	2前		2		3			1			教員配置見直しのため (29)
	先端数理科学 I	2前		2			4					
	先端代数学 II	2後		2		1	2	+	+			教員の昇進のため (28)
	先端幾何学 II	2後		2			2	+	+			教員の昇進のため (28)
	先端解析学 II	2後		2		3			1			教員配置見直しのため (29)
先端数理科学 II	2後		2			4						
代数学演習 I	1通		4		1	2	+	+			教員の昇進のため (28)	

	幾何学演習 I	1通		4		2	+					教員の昇進のため (28)
	解析学演習 I	1通		4		3			1			教員配置見直しのため (29)
	数理学演習 I	1通		4		4						
	代数学演習 II	2通		4		1	2	+	+			教員の昇進のため (28)
	幾何学演習 II	2通		4		2	+		+			教員の昇進のため (28)
	解析学演習 II	2通		4		3			1			教員配置見直しのため (29)
	数理学演習 II	2通		4		4						
	特別研究	2通	4			6	5	+	2			教員配置見直しのため (29) 教員の昇進のため (28)
	実務体験実習	1・2通		2		1						
物理学 ユニット	磁性物質論	1・2後		2		1						
	固体物性物理学	1前		2		1						
	磁気共鳴論	1・2前		2		1						
	統計物理学	1前		2		1						
	光エレクトロニクス	1・2前		2		1						
	光物性物理学演習 I	1通		4		1						
	光物性物理学演習 II	2通		4		1						
	物性物理学演習 I	1通		4		1	1					
	物性物理学演習 II	2通		4		1	1					
	磁性物理学演習 I	1通		4		1	2					
	磁性物理学演習 II	2通		4		1	2					
	高エネルギー理論	1後		2								兼1
	宇宙線物理学	1後		2		2	1					
	高エネルギー実験	1前		2		1	1					
	物理と対称性	1・2前		2		1						
	場の理論 I	1・2前		2		1						
	場の理論 II	1・2後		2		1						
	宇宙放射線計測学	1前		2		2	1					
	観測天文学演習 I	1通		4		1						
	観測天文学演習 II	2通		4		1						
	宇宙線物理学演習 I	1通		4		1	1					
	宇宙線物理学演習 II	2通		4		1	1					
	高エネルギー物理学演習 I	1通		4		1	1					
	高エネルギー物理学演習 II	2通		4		1	1					
素粒子物理学演習 I	1通		4		2	1						
素粒子物理学演習 II	2通		4		2	1						
実務体験実習	1・2通		2		1							
化学 ユニット	計測化学特論	1・2前		2		+			1			教員配置見直しのため (29) 教員配置見直しのため (28)
	電気化学	1・2後		2		1						
	量子化学	1・2前		2		1						
	化学計測学	1・2後		2		1						
	分子物質変換学	1・2後		2								兼1
	分光化学	1・2後		2		1						
	反応有機化学演習 I	1通		4		1	1		+			教員配置見直しのため (29)
	反応有機化学演習 II	2通		4		1	1		+			教員配置見直しのため (29)
	物性物理化学演習 I	1通		4		1	1		1			
	物性物理化学演習 II	2通		4		1	1		1			
	分子反応化学	1・2前		2			1		+			教員の昇進のため (29)
	界面物性科学	1・2後		2		1						

理 学 分 野	ソ ツ ト	分子合成化学	1・2後	2		1	4					教員の昇進のため (29)	
		複素環化学	1・2前	2		1							
		超分子化学	1・2前	2		4	4		1				教員の昇進のため (28)
		構造無機化学演習 I	1通	4		1	1					兼1	
		構造無機化学演習 II	2通	4		1	1		1			兼1	
		計測分離化学演習 I	1通	4		1	2	1		1			教員退職のため (29) 教員配置見直しのため (28)
		計測分離化学演習 II	2通	4		1	2	1		1			教員配置見直しのため (29) 教員配置見直しのため (28)
		実務体験実習	1・2通	2		4	1						教員配置見直しのため (29)
	地 球 学 ユ ニ ツ ト	古環境復元論	1後	2		1	4						教員の昇進のため (28)
		古環境変動論	1前	2				1					
		地殻構造形成論	1後	2		1							
		シーケンス層序学	1前	2		1							
		変形構造解析論	1前	1					1				
		地層科学演習 I	1通	4		3	2	2		1			教員の昇進のため (28)
		地層科学演習 II	2通	4		3	2	2		1			教員の昇進のため (28)
		相平衡岩石学	1前	2		4							兼1 教員配置見直しのため (29)
		鉱物変移論	1後	2		1							
		地殻火成活動史	1前	2		1							
		岩石磁気学	1後	2				1					
		地球物質科学演習 I	1通	4		3	3	1					
		地球物質科学演習 II	2通	4		3	3	1					
		実務体験実習	1・2通	2		1							
	生 物 学 ユ ニ ツ ト	発生学	1・2後	2				1					
		遺伝子情報学	1・2後	2				1					
		比較発生学	1・2後	2				1					
		情報生理学	1・2後	2		1				1			教員配置見直しのため (28)
		生体生物学演習 I	1通	4		1	3			1			教員配置見直しのため (28)
		生体生物学演習 II	2通	4		1	3			1			教員配置見直しのため (28)
多様性生物学		1・2前	2		1								
進化生態遺伝学		1・2前	2		1								
植物進化学		1・2後	2		1	4						教員の昇進のため (28)	
進化生態学		1・2前	2		1								
系統発生学		1・2後 1・2前	2		1	4						時間割調整, 教員の昇進のため (29)	
植物病理学		1・2前	2				1						
進化生物学演習 I		1通	4		5	4	3	1				教員の昇進のため (29) 教員の昇進のため (28)	
進化生物学演習 II		2通	4		5	4	3	1				教員の昇進のため (29) 教員の昇進のため (28)	
実務体験実習	1・2通	2		1									
物	環境計測学	1・2前	2				1						
	堆積学特論	1・2前	2				1						
	大気陸面相互作用論	1・2後	2						1				
	雪氷圏水文循環論	1・2後	2		1								
	地球システム解析演習 I	1通	4		1	1			1				

質 循 環 学 ユ ニ ツ ト	地球システム解析演習Ⅱ	2通		4		1	1		1		
	地域環境学Ⅰ	1・2前		2			1				
	地域環境学Ⅱ	1・2後		2			1				
	水生生物生態学	1・2後		2		2					教員配置見直しのため(29)
	化学生態学	1・2前		2		1					
	集水域システム論	1・2後		2		1					
	生態システム解析演習Ⅰ	1通		4		3	3				
	生態システム解析演習Ⅱ	2通		4		3	3				
	実務体験実習	1・2通		2		1					
分 野 共 通						25	22		5		教員配置見直しのため(29)
	特別研究	2通	6			26	23		6		教員の昇進のため(28)
エ ネ ル ギ ー コ ー ス サ ス テ ィ ナ ル フ ォ ー ド コ ー ス	エネルギー材料科学特論Ⅰ	1・2後		2							兼1
	エネルギー材料科学特論Ⅱ	1・2前		2							兼2 兼5 教員配置見直しのため(28)
	エネルギーデバイス総論	1・2前		2							兼6
	エネルギーシステム特論Ⅰ	1・2後		2							兼6
	エネルギーシステム特論Ⅱ	1・2前		2							兼2
	水環境科学特論	1・2前 1・2通		2		2					兼4 兼3 時間割調整、教員配置見直しのため(28)
	水創成特論	1・2後		2							兼7
	水利用システム特論	1・2後		2			1				兼7
	食料機能学総論	1・2通		2							兼7 兼8 教員配置見直しのため(28)
	食資源利用学総論	1・2通		2							兼7 兼8 教員配置見直しのため(28)
フードビジネス総論	1・2通		2							兼6 兼7 教員配置見直しのため(28)	
食料生命科学総論	1・2通		2							兼7 兼8 教員配置見直しのため(28)	
食農生産システム工学特論	1・2通		2							兼9	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 145	科目 0	科目 148	科目 3 [0]	科目 145 [0]	科目 0 [0]	科目 148 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{148} = \boxed{0.00} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	539,062㎡	0㎡	0㎡	539,062㎡			
	運動場用地	208,855㎡	0㎡	0㎡	208,855㎡			
	小 計	747,917㎡	0㎡	0㎡	747,917㎡			
	そ の 他	5,693,687㎡	0㎡	0㎡	5,693,687㎡			
	合 計	6,441,604㎡	0㎡	0㎡	6,441,604㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		434,207㎡ (434,207㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	434,207㎡ (434,207㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		13室	38室	62室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数	退職により1減(29)		
		総合理工学研究科 理学専攻			71 72 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部等単位での特定不能なため、大学全体の数
	総合理工学研究科 理学専攻	1,228,958 [360,852] (1,228,958 [360,852])	26,443 [9,045] (26,443 [9,045])	13,857 [12,632] (13,857 [12,632])	4,110 (4,110)	60,443 (60,443)	147,479 (147,479)	
	計	1,228,958 [360,852] (1,228,958 [360,852])	26,443 [9,045] (26,443 [9,045])	13,857 [12,632] (13,857 [12,632])	4,110 (4,110)	60,443 (60,443)	147,479 (147,479)	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		13,304㎡		1,611席	980,254冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
		8,085㎡		プール	武道場・弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.06	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	920	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大学西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	2年次 10	210	学士(経済学)	1.11	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	2年次 10	170	学士(法学)	1.09	〃	〃	
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 1	163	〃	1.03	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	3年次 3	456	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	715	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	〃
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	〃
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.01	平成15年度	〃	〃
理学療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度	〃	〃
作業療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士(保健学)	1.09	平成15年度	〃	〃

工学部									
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度	〃	〃
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
物質化学科	4	95		190	学士(工学)	1.03	平成28年度	〃	〃
電気情報システム工学科	4	170		340	〃	1.03	〃	〃	〃
水環境・土木工学科	4	60		120	〃	1.08	〃	〃	〃
機械システム工学科	4	100		200	〃	1.07	〃	〃	〃
建築学科	4	60		120	〃	1.06	〃	〃	〃
農学部									
食料生産科学科	4	—		—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—		—	〃	—	〃	〃	〃
応用生命科学科	4	—		—	〃	—	〃	〃	〃
農学生命科学科	4	170	3年次 ₆	516	〃	1.05	平成27年度	〃	〃
繊維学部									
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃	〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65		130	学士(工学)	1.05	平成28年度	〃	〃
機械・ロボット学科	4	60		120	〃	1.06	〃	〃	〃
化学・材料学科	4	105		210	〃	1.00	〃	〃	〃
応用生物科学科	4	50		100	学士(農学)	1.08	〃	〃	〃

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	"	1.10	"	"	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		40	修士(教育学)	1.30	平成3年度	長野県長野市大字西長野6の口	
高度教職実践専攻	2	20		40	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	"	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.83	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.65	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
地球生物圏科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	"
電気電子工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
土木工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
建築学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
物質工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
情報工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
環境機能工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
繊維・感性工学専攻	2	—		—	"	—	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	"
機械・ロボット学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
化学・材料専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	"	"	"
農学研究科									
森林科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成4年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		150	修士(理学)	0.85	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		480	修士(工学)	1.03	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		320	修士(工学) 修士(農学)	1.15	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		130	修士(農学)	0.93	"	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		70	修士(医工学)	1.18	"	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科									
医科学専攻（修士課程）	2	12		24	修士(医科学)	0.87	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14		28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.24	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40		160	博士(医学)	1.01	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8		32	〃	0.81	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4		12	博士(保健学)	1.16	平成21年度	〃	
総合工学系研究科									
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15		45		0.95	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12		36	博士(学術)	0.99	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7		21	博士(理学) 博士(工学)	0.85	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8		24	博士(農学)	0.70	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生物・食料科学専攻	3	7		21		0.99	〃		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合理工学研究所 理学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	樋上 照男	平成28年4月	計測分離化学演習Ⅱ 実務体験実習 計測化学特論 計測分離化学演習Ⅰ 特別研究	専	助教	高橋 史樹	平成29年4月	計測分離化学演習Ⅱ	平成29年3月樋上照男教授定年退職のため平成29年4月担当者の変更(29)
					専	准教授	飯山 拓	平成29年4月	実務体験実習	平成29年4月教員配置見直しのため担当者の変更(29)
										平成29年3月定年退職(29)「計測化学特論」、「計測分離化学演習Ⅰ」、「特別研究」については他に担当教員がいるため支障はない。
専	教授	森清 壽郎	平成28年4月	相平衡岩石学 特別研究	兼任	講師	森清 壽郎	平成29年4月	相平衡岩石学	平成29年3月定年退職のため、専任から兼任へ変更(29)
										平成29年3月定年退職(29)「特別研究」については他に担当教員がいるため支障はない。
専	教授	小田 晃規	平成28年4月	反応有機化学演習Ⅰ 反応有機化学演習Ⅱ 特別研究						平成29年3月定年退職(29)「反応有機化学演習Ⅰ」、「反応有機化学演習Ⅱ」、「特別研究」については他に担当教員がいるため支障はない。
専	教授	谷内 靖	平成28年4月	先端科学特別講義A 解析学特論 先端解析学Ⅰ 先端解析学Ⅱ 解析学演習Ⅰ 解析学演習Ⅱ 特別研究				平成29年4月	偏微分方程式論	平成29年4月教員配置見直しのため教員追加(29)
専	教授	花里 孝幸	平成28年4月	水生生物生態学	専	教授	朴 虎東	平成29年4月	水生生物生態学	平成29年4月教員配置見直しのため担当者の変更(29)
					専	教授	戸田 任重	平成29年4月	水生生物生態学	平成29年4月教員配置見直しのため教員追加(29)
専	准教授	太田 哲	平成28年4月	先端科学特別講義B 分子合成化学 反応有機化学演習Ⅰ 反応有機化学演習Ⅱ 特別研究	専	教授	太田 哲	平成29年4月		平成29年4月教授昇進(29)
専	准教授	東城 幸治	平成28年4月	系統発生学 進化生物学演習Ⅰ 進化生物学演習Ⅱ 特別研究	専	教授	東城 幸治	平成29年4月		平成29年4月教授昇進(29)
専	准教授	吉田 孝紀	平成28年4月	先端科学特別講義B 古環境復元論 地層科学演習Ⅰ 地層科学演習Ⅱ 特別研究	専	教授	吉田 孝紀	平成28年4月		平成28年4月教授昇進(28)
専	准教授	高橋 耕一	平成28年4月	先端科学特別講義B 植物進化学 進化生物学演習Ⅰ 進化生物学演習Ⅱ 特別研究	専	教授	高橋 耕一	平成28年4月		平成28年4月教授昇進(28)
専	准教授	勝木 明夫	平成28年4月	超分子化学	専	教授	勝木 明夫	平成28年4月		平成28年4月教授昇進(28)
専	講師	沼田 泰英	平成28年4月	先端科学特別講義A 群論と対称性 代数学特論 先端代数学Ⅰ 先端代数学Ⅱ 代数学演習Ⅰ 代数学演習Ⅱ 特別研究	専	准教授	沼田 泰英	平成28年4月		平成28年4月准教授昇進(28)
専	助教	庄子 卓	平成28年4月	分子反応化学 反応有機化学演習Ⅰ 反応有機化学演習Ⅱ 特別研究	専	准教授	庄子 卓	平成29年4月		平成29年4月准教授昇進(29)

専	助教	和田 堅太郎	平成28年4月	先端科学特別講義A 多元環論 代数学特論 先端代数学Ⅰ 先端代数学Ⅱ 代数学演習Ⅰ 代数学演習Ⅱ 特別研究	専	准教授	和田 堅太郎	平成28年4月		平成28年4月准教授昇進(28)
専	助教	境 圭一	平成28年4月	先端科学特別講義A 微分トポロジー 幾何学特論 先端幾何学Ⅰ 先端幾何学Ⅱ 幾何学演習Ⅰ 幾何学演習Ⅱ 特別研究	専	准教授	境 圭一	平成28年4月		平成28年4月准教授昇進(28)
					専	助教	筒井 容平	平成29年4月	解析学特論 先端解析学Ⅰ 先端解析学Ⅱ 解析学演習Ⅰ 解析学演習Ⅱ 特別研究	平成29年4月教員配置見直しのため教員追加(29)
					専	助教	高橋 史樹	平成28年4月	計測化学特論 計測分離化学演習Ⅰ 計測分離化学演習Ⅱ 特別研究	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					専	助教	高梨 功次郎	平成28年4月	情報生理学 生態生物学演習Ⅰ 生態生物学演習Ⅱ 特別研究	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
兼担	教授	倪 慶清	平成28年4月	エネルギー材料科学特論Ⅱ					エネルギー材料科学特論Ⅱ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
兼担	教授	鮑 力民	平成28年4月	エネルギー材料科学特論Ⅱ					エネルギー材料科学特論Ⅱ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
兼担	教授	中村 宗一郎	平成28年4月	食料機能学総論 食資源利用学総論 フードビジネス総論 食料生命科学総論					食料機能学総論 食資源利用学総論 フードビジネス総論 食料生命科学総論	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
兼担	教授	南 峰夫	平成28年4月	食料機能学総論					食料機能学総論	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
					兼担	教授	齊藤 保典	平成28年4月	水環境科学特論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	教授	岡本 拓也	平成28年4月	研究者倫理特別講義 (CITI-Japan&講義) 科学技術政策特論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	教授	杉山 暢宏	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	教授	石田 文宏	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	教授	金井 誠	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	教授	中沢 洋三	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	教授	池上 俊彦	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
兼担	准教授	夏木 俊明	平成28年4月	エネルギー材料科学特論Ⅱ					エネルギー材料科学特論Ⅱ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
					兼担	准教授	吉村 康夫	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	准教授	青木 薫	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	講師	伊東 清志	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	講師	瀬戸 達一郎	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
兼担	助教	米倉 真一	平成28年4月	先端応用生命科学特論	兼担	准教授	米倉 真一	平成28年4月		平成28年4月准教授昇進(28)
									食料機能学総論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)

- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任**

教員として授業等を担当することは出来ません。

- ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
11	8	0
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
33	32	1	6	72	34	31	0	5	70	34	31	0	5	70
(35)	(32)	(0)	(6)	(73)						[1]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
72	0	0			70	0	0			70	0	0		
(73)	(0)	(0)								[Δ2]	[0]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	樋上 照男	選択	実務体験実習	①	定年退職のため辞任 (29)	
			選択	計測化学特論	①		
			選択	計測分離化学演習Ⅰ	①		
			選択	計測分離化学演習Ⅱ	①		
			必修	特別研究	①		
2	教授	森清 壽郎	選択	相平衡岩石学	②	定年退職のため辞任 (29)	
			必修	特別研究	①		
3	教授	小田 晃規	選択	反応有機化学演習Ⅰ	①	定年退職のため辞任 (29)	
			選択	反応有機化学演習Ⅱ	①		
			必修	特別研究	①		
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
3	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	7 科目	選択	6 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	10 科目	計	9 科目	計	1 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)									
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
3 人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	7	科目	選択	6	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	10	科目	計	9	科目	計	1	科目	計	0	科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した教員の担当授業科目については、他に担当する教員がいるため、学生の履修に支障はない。「履修登録の手引き」を配付して周知するとともに、ホームページに掲載した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<総合理工学研究科 理学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学生委員会，教務委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

学生委員会（審議事項があるとき開催），教務委員会（毎月）

c 委員会の審議事項等

委員会内規参照

信州大学理学部教務委員会内規

（設置）

第1条 信州大学理学部並びに信州大学大学院総合理工学研究科（理学専攻）及び信州大学大学院理工学系研究科（数理・自然情報科学専攻，物質基礎科学専攻，地球生物圏科学専攻）（以下「学部等」という。）の教務に関し，その適正，かつ，円滑な実施を図るため，信州大学理学部教務委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（職務）

第2条 委員会は，次に掲げる事項を審議する。

- 一 学部等の授業科目の履修に関すること。
- 二 学部等の授業計画に関すること。
- 三 学部等の学事日程に関すること。
- 四 その他教務に関すること。

（組織）

第3条 委員会は，次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 各学科から選出された教員 各1人
- 二 その他委員会が特に必要と認めた者

2 前項第1号に規定する委員がやむを得ず欠席する場合は，委員会の承認を得て，代理者を出席させ，その職務を代行する。

（任期）

第4条 前条第1項第1号に規定する委員の任期は，2年とする。ただし，再任を妨げない。

2 前条第1項第2号に規定する委員の任期は，その都度委員会が定める。

3 前条第1項第1号に規定する委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は，前任者の残任期間とする。

（委員長）

第5条 委員会に，委員長を置き互選により定める。

2 委員長は，委員会を招集し，その議長となる。

3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。
(議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開くことができない。
(委員以外の者の出席)

第7条 委員会が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。
(庶務)

第8条 委員会の庶務は、理学部学生支援グループにおいて処理する。
(雑則)

第9条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

1 この内規は、平成16年4月1日から施行する。

2 この内規施行の際最初に任命される第3条第1項第1号の委員のうち、数理・自然情報科学科、化学科及び生物科学科の委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成17年3月31日とする。

附 則

この内規は、平成19年7月4日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この内規は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成28年4月5日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

信州大学理学部学生委員会内規

(設置)

第1条 信州大学理学部並びに信州大学大学院総合理工学研究科(理学専攻)及び信州大学大学院理工学系研究科(数理・自然情報科学専攻、物質基礎科学専攻、地球生物圏科学専攻)の学生の厚生補導及び留学生に関し、その適正、かつ、円滑な実施を図るため、信州大学理学部学生委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(職務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- 一 入学料及び授業料免除に関すること。
- 二 奨学金に関すること。
- 三 学生生活に関すること。
- 四 留学生交流に関すること。
- 五 留学生の奨学金に関すること。
- 六 国費留学生の選考に関すること。
- 七 その他厚生補導及び留学生に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 各学科から選出された教員 各1人
- 二 その他委員会が特に必要と認めたる者

2 前項第1号に規定する委員がやむを得ず欠席する場合は、委員会の承認を得て、代理者を出席させ、その職務を代行する。

(任期)

第4条 前条第1項第1号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前条第1項第2号に規定する委員の任期は、その都度委員会が定める。

3 前条第1項第1号に規定する委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に、委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開くことができない。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、理学部学生支援グループにおいて処理する。

(雑則)

第9条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

1 この内規は、平成16年4月1日から施行する。

2 この内規施行の際最初に任命される第3条第1項第1号の委員のうち、物理科学科、地質科学科及び物質循環科学科の委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成17年3月31日とする。

附 則

この内規は、平成19年7月4日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この内規は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成28年4月5日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

a 実施内容

- ①FD（参加型授業が必要な理由と参加型授業の運営の仕方について）
- ②FD（障害学生支援の法的背景と信州大学の実情）
- ③CITI Japanの受講

b 実施方法

- ①②大学院担当教員を含め、理学部教授会前に実施
- ③教員各自受講

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①30名出席 ②26名出席
- ③教員全員

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FDの内容を踏まえ工夫改善に努めている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有（「教育・進路に関する調査」修了予定者） 1月～2月実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

調査結果を就職委員会、評価・点検委員会に渡し検討している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、設置計画どおりに進め、当初設定したとおりに実現している。

旧3専攻を理学専攻としてひとまとめにし、「先端科学特別講義A」や「先端科学特別講義B」、「研究者倫理特別講義（CITI-Japan&講義）」などの研究科共通科目・専攻共通科目を設定したことにより、自分の研究分野だけでなく各領域における最先端の研究や、研究者倫理（研究不正）などに関する周辺領域の知識を学生に身につけさせることが可能となった。専攻内に「分野」「ユニット」を設けて、学部内の過程教育との接続性を明確にしたことにより、6年一貫教育を推進する体制を構築できた。

今後は、更なる教育・研究水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け、引き続き取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- 1) 平成29年度以降
- 2) 平成32年5月 公表予定

b 公表方法

- 1) 大学で実施する自己点検・評価に基づき、各事業年度及び中期目標期間内における業務実績に係る「自己点検評価報告書」を作成し大学ホームページ上に公表する。
- 2) 大学全体において自己点検・評価を行い、大学ホームページ上に公表する。

③ 認証評価を受ける計画

- ・大学全体において、平成31年度に外部評価を含む自己点検評価を行うとともに、平成32年度に機関別認証評価を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成29年6月1日公表予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人信州大学

(2) 大学名

信州大学大学院

(3) 大学の位置

〔松本キャンパス〕（大学本部） 〒390-8621
長野県松本市旭3丁目1番1号
〔長野（工学）キャンパス〕 〒380-8553
長野県長野市若里4丁目17番1号
〔上田キャンパス〕 〒386-8567
長野県上田市常田3丁目15番1号
〔伊那キャンパス〕 〒399-4598
長野県上伊那郡南箕輪村8304

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハマダ ケニロ) 濱田 州博 (平成27年10月)		
研究科長	(オキ スミオ) 尾関 寿美男 (平成28年4月)	(イノ ヲオ) 市野 隆雄 (平成29年4月)	任期満了に伴う交代 平成29年4月1日就任 (29)
専攻長	(ハンダ シロウ) 半田 志郎 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
総合理工学研究科 工学専攻 修士(工学)	工学関係	2 年	240 人	480 人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成28年度	平成29年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	240 (若干人) [若干人]	240 (若干人) [若干人]	240 (若干人) [若干人]	240 (若干人) [若干人]	1.03倍 1.00倍			
志願者数	263 (0) [14]	9 (0) [3]	303 (1) [14]	() []				
受験者数	257 (0) [14]	9 (0) [3]	296 (1) [14]	() []				
合格者数	254 (0) [11]	8 (0) [3]	289 (1) [13]	() []				
B 入学者数	240 (0) [11]	6 (0) [3]	252 (1) [13]	() []				
入学定員超過率 B/A	1.02 1.00	1.05						

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。

- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	240 [11] (-)	[]	254 [8] (2)	6 [3] (-)			
2年次	/		228 [10] (-)	[] ()			
計			240 [11] (-)	488 [21] (2)			

- (注)
- ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	246 240 人	10 0 人	平成28年度	10 0 人	1 0 人	就職(3人)、他の教育機関への入学(3人)、家庭 の事情(2人)、就学意欲低下、除籍(2人)	4.06 0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	252 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
合 計	498 240 人	10 0 人					2.00 0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合理工学研究科 工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
研究科共通科目	Introduction to Modern Astrophysics	1・2前		2				1							
	MOT特論	1・2通		2								兼1			
	産学連携特別講義	1・2通		2								兼1			
	国際連携特別講義I	1・2通		1								兼1			
	国際連携特別講義II	1・2通		1								兼1			
	科学英語	1・2後		2								兼1			
	大学院と社会	1・2前		2								兼1			
	臨床医学概論	1・2後		2								兼14 兼5	教員配置見直しのため(28)		
	研究者倫理特別講義 (CITI-Japan&講義)	1・2前	2									兼2 兼1	教員配置見直しのため(28)		
	科学技術政策特論	1・2後		2								兼2 兼4	教員配置見直しのため(28)		
	学外特別講義(長期)	1・2通		2			1								
学外特別実習(長期)	1・2通		2			1									
専攻共通科目	実験的工学手法	1前・後	2			5							時刻調整のため(28)		
	応用数学特論	1後		2		1									
	応用物理学特論	1前		2		1									
物質化学分野	先進材料工学ユニット	無機材料工学特論	1・2前		2		1								
		無機材料工学演習	1・2通		2		1								
		無機材料工学特別実験 I	1通		2		1								
		無機材料工学特別実験 II	2通		2		1								
		無機材料化学特論	1・2前 1・2後		2			1						時刻調整のため(28)	
		無機材料化学演習	1・2通		2			1							
		無機材料化学特別実験 I	1通		2			1							
		無機材料化学特別実験 II	2通		2			1							
		材料表面工学	1・2前		2		1				1			教員配置見直しのため(28)	
		電気化学演習	1・2通		2		1				1			教員配置見直しのため(28)	
		電気化学特別実験 I	1通		2		1				1			教員配置見直しのため(28)	
		電気化学特別実験 II	2通		2		1				1			教員配置見直しのため(28)	
		機器分析化学特論	1・2後		2			1							
		機器分析化学演習	1・2通		2			1							
		機器分析化学特別実験 I	1通		2			1							
		機器分析化学特別実験 II	2通		2			1							
		先進材料化学特論	未開講 1・2前		2			1	1			1			隔年開講のため(29)
		先進材料化学演習	1・2通		2			1	1			1			
	先進材料化学特別実験 I	1通		2			1	1			1				
	先進材料化学特別実験 II	2通		2			1	1			1				
	光化学特論	1・2後		2			1								
	光化学演習	1・2通		2			1								
	光化学特別実験 I	1通		2			1								
	光化学特別実験 II	2通		2			1								
	機能物質化学特論	1・2後 1・2前		2				1						時刻調整のため(28)	
	機能物質化学演習	1・2通		2				1							
	機能物質化学特別実験 I	1通		2				1							
	機能物質化学特別実験 II	2通		2				1							
	分子工学ユニット	有機合成化学特論	1・2後 未開講 1・2後		2			1						隔年開講のため(29) 隔年開講のため(28)	
		分子集合体化学特論	未開講 1・2後		2			1						隔年開講のため(29)	
		有機合成化学演習	1・2通		2			1							
		分子集合体化学演習	1・2通		2			1							
		有機合成化学特別実験 I	1通		2			1							
有機合成化学特別実験 II		2通		2			1								
分子集合体化学特別実験 I		1通		2			1								
分子集合体化学特別実験 II		2通		2			1								
コロイド・界面科学特論		1・2前		2				1							
コロイド・界面科学演習		1・2通		2				1							
コロイド・界面科学特別実験 I		1通		2				1							
コロイド・界面科学特別実験 II		2通		2				1							
触媒設計論		1・2後 1・2前		2				1						時刻調整のため(28)	
触媒設計演習		1・2通		2				1							

	触媒設計特別実験Ⅰ	1通		2		1					
	触媒設計特別実験Ⅱ	2通		2		1					
	高速化学反応論	1・2後 未開講 1・2後		2		1				隔年開講のため (29) 隔年開講のため (28)	
	高速化学反応演習	1・2通		2		1					
	高速化学反応特別実験Ⅰ	1通		2		1					
	高速化学反応特別実験Ⅱ	2通		2		1					
	精密合成化学特論	未開講 1・2前		2				1		隔年開講のため (29)	
	精密合成化学演習	1・2通		2				1			
	精密合成化学特別実験Ⅰ	1通		2				1			
	精密合成化学特別実験Ⅱ	2通		2				1			
バイオ・プロセス工学ユニット	生物化学特論	1・2前		2						兼2	
	分子生物学特論	1・2前		2						兼1	
	応用生物学特論	1・2後 未開講 1・2後		2		1				隔年開講のため (29) 隔年開講のため (28)	
	生物化学工学特論	1・2後 1・2前		2		+				兼1 教員の退職のため (29) 時間割調整のため (29)	
	バイオ・プロセス工学演習Ⅰ	1・2通		2						兼1	
	バイオ・プロセス工学演習Ⅱ	1・2通		2						兼1	
	バイオ・プロセス工学特別実験Ⅰ	1・2通		4		1					
	バイオ・プロセス工学特別実験Ⅱ	1・2通		4		+				兼1 教員の退職のため (29)	
	食品バイオテクノロジー	1前		2		1				兼3	
	応用食品プロセス工学	1前		2							
	食品科学	1前		2						兼1 カリキュラム見直しにより科目追加 (28)	
	食品バイオテク実習	1前		1		1				兼2 カリキュラム見直しにより科目追加 (28)	
	食品プロセス実習	1通		1		2				兼1 カリキュラム見直しにより科目追加 (28)	
	機能的食品特別講義Ⅰ	未開講 1・2通		1						兼1 隔年開講のため (29) カリキュラム見直しにより科目追加 (28)	
	機能的食品特別講義Ⅱ	1・2通 未開講 1・2通		1						兼1 隔年開講のため (29) カリキュラム見直しにより科目追加 (28) 隔年開講のため (28)	
	分野共通	応用解析学特論	1前 1後		2		1				時間割調整のため (29)
		数理解析特論	1後		2		1				
応用数学演習Ⅰ		1・2通		2		1		1		教員配置見直しのため (28)	
応用数学演習Ⅱ		1・2通		2		1		1		教員配置見直しのため (28)	
応用数学演習Ⅲ		1・2通		2		1		1		教員配置見直しのため (28)	
応用数学特別実験Ⅰ		1・2通		4		1		1		教員配置見直しのため (28)	
応用数学特別実験Ⅱ		1・2通		4		1		1		教員配置見直しのため (28)	
応用数学特別実験Ⅲ		1・2通		4		1		1		教員配置見直しのため (28)	
物理学特論Ⅰ		1後		2		1					
物理学特論Ⅱ		1前		2		1					
応用物理演習Ⅰ		1通		2		1					
応用物理演習Ⅱ		2通		2		1					
応用物理特別実験Ⅰ		1通		4		1					
応用物理特別実験Ⅱ		2通		4		1					
学外特別講義		1・2通		2		1					
学外特別実習Ⅰ		1・2通		2		1					
学外特別実習Ⅱ		1・2通		2		1					
(研究指導)	1・2通				7	13		4			
電気電子ユニット	CMOSアナログ集積回路設計	1後		2		1					
	電子材料特論	1前		2		1		2 +		教員配置見直しのため (28)	
	電子材料演習	1通		2		1		1			
	CMOSアナログ集積回路設計演習	1通		2		1					
	結晶成長演習	1通		2			1				
	電子材料特別実験	1通		4		1		1			
	CMOSアナログ集積回路設計特別実験	1通		4		1					
	結晶成長特別実験	1通		4		1					
	電子デバイス特論	1後		2		1					
	強誘電体材料特論	1後		2		1					
	エネルギーデバイス特論	1前 1後		2		1				時間割調整のため (29)	
	光エレクトロニクス特論	1前		2		1					
	結晶成長特論	1後		2		1					
	電子デバイス演習	1通		2		1					
	強誘電体材料演習	1通		2		1					
	光エレクトロニクス演習	1通		2		1					
	エネルギーデバイス演習	1通		2		1					
電子デバイス特別実験	1通		4		1						
強誘電体材料特別実験	1通		4		1						
光エレクトロニクス特別実験	1通		4		1						
エネルギーデバイス特別実験	1通		4		1						
電気回路特論	1前		2		1						
磁気回路特論	1前		2		1			1		教員配置見直しのため (28)	

	電気回路システム演習	1通		2		1										
	磁気回路システム演習	1通		2		1			1						教員配置見直しのため(28)	
	電気回路システム特別実験	1通		4		1			1							
	磁気回路システム特別実験	1通		4		1			1						教員配置見直しのため(28)	
	電気エネルギー変換工学	1後		2		1										
	パワーマグネティックス演習	1通		2		1										
	パワーマグネティックス特別実験	1通		4		1										
	知覚情報論	1前		2		1										
	電気電子工学特論	1・2前 1後		2		1									時間割調整のため(29)	
	ソフトウェア工学特論	1・2前 1後		2		1									時間割調整のため(29)	
	モバイル制御特論	1・2前 2冊		2		1									時間割調整のため(29)	
	航空宇宙工学特論	1・2前 2冊		2		1									時間割調整のため(29)	
通信システムユニット	信号検出特論	1前		2		1										
	誤り訂正符号特論	1前		2		1										
	無線信号処理特論	1後		2		1	+								教員の昇進のため(29)	
	無線通信システム設計特論	1後		2		1										
	情報処理特論	1前		2		1			1							
	情報理論特論	1前		2		1										
	情報システム工学特論	1後		2		1										
	信号検出演習	1・2通		2		1			1							
	誤り訂正符号演習	1・2通		2		1										
	無線通信システム設計演習	1・2通		2		1			1							
	無線信号処理演習	1・2通		2		1	+								教員の昇進のため(29)	
	情報処理演習	1・2通		2		1				1						
	情報理論演習	1・2通		2		1										
	情報システム工学演習	1・2通		2		1										
	信号検出特別実験	1・2通		4		1										
	誤り訂正符号特別実験	1・2通		4		1										
	無線通信システム設計特別実験	1・2通		4		1										
	無線信号処理特別実験	1・2通		4		1	+									教員の昇進のため(29)
	情報処理特別実験	1・2通		4		1				1						
	情報理論特別実験	1・2通		4		1										
情報システム工学特別実験	1・2通		4		1											
情報システムユニット	プログラミング言語特論	1・2後		2		1										
	計算理論	1・2前		2		1										
	情報基礎特論Ⅰ	1・2通		2		1										
	情報基礎特論Ⅱ	1・2前 1・2後 1・2冊		2					1							時間割調整のため(29) 時間割調整のため(28)
	情報基礎特論Ⅲ	1・2後 未開講 1・2後		2					1							隔年開講のため(29) 隔年開講のため(28)
	情報基礎演習Ⅰ	1通		2		1	1									
	情報基礎演習Ⅱ	1通		2		1	1			1						
	情報基礎演習Ⅲ	2通		2		1	1									
	情報基礎演習Ⅳ	2通		2		1	1			1						
	情報基礎特別実験Ⅰ	1通		4		1	1									
	情報基礎特別実験Ⅱ	1通		4		1	1			1						
	情報基礎特別実験Ⅲ	2通		4		1	1									
	情報基礎特別実験Ⅳ	2通		4		1	1			1						
	知能情報特論Ⅰ	1・2前 未開講 1・2前		2		1										隔年開講のため(29) 隔年開講のため(28)
	知能情報特論Ⅱ	1・2通		2		1										
	知能情報特論Ⅲ	1・2通		2		1										
	知能情報特論Ⅳ	1・2後		2					1							
	知能情報演習Ⅰ	1通		2		1	2 +			+						教員の昇進のため(29)
	知能情報演習Ⅱ	1通		2		1	1									
	知能情報演習Ⅲ	2通		2		1	2 +			+						教員の昇進のため(29)
	知能情報演習Ⅳ	2通		2		1	1									
	知能情報演習Ⅴ	2通		2		1	1			1						
	知能情報特別実験Ⅰ	1通		4		1	1			1						
	知能情報特別実験Ⅱ	1通		4		1	1									
	知能情報特別実験Ⅲ	2通		4		1	1			1						
	知能情報特別実験Ⅳ	2通		4		1	1									
	知能情報特別実験Ⅴ	2通		4		1	1			1						
	計算機システム特論	1・2前		2		1										
	計算機デバイス特論	未開講 1・2後		2					1							隔年開講のため(29)
情報システム特論Ⅰ	1・2前 未開講 1・2冊		2					1							隔年開講のため(29) 隔年開講のため(28)	
情報システム特論Ⅱ	1・2前		2		1											
情報システム演習Ⅰ	1通		2		1											
情報システム演習Ⅱ	1通		2		1	2										
情報システム演習Ⅲ	1通		2		1	1										
情報システム演習Ⅳ	2通		2		1	2										

情報システム演習V	2通		2	1	2				
情報システム特別実験 I	1通		4	1					
情報システム特別実験 II	1通		4	1	2				
情報システム特別実験 III	2通		4	1					
情報システム特別実験 IV	2通		4	1	2				
情報システム特別実験 V	2通		4	1	2				
情報計測特論 I	1・2前 未開講 1・2後		2				1		隔年開講のため (29) 時刻調整のため (29) 隔年開講のため (28)
情報計測特論 II	1・2後 未開講 1・2後		2			1			隔年開講のため (29) 隔年開講のため (28)
応用情報工学 I	1・2後 未開講 1・2後		2			1			隔年開講のため (29) 隔年開講のため (28)
応用情報工学 II	未開講 1・2前		2	1					隔年開講のため (29)
応用情報工学 III	1・2通		2		1				
情報計測演習 I	1通		2	1	2 ±				教員配置見直しのため(28)
情報計測演習 II	1通		2	1			1		
情報計測演習 III	2通		2	1	2 ±				教員配置見直しのため(28)
情報計測演習 IV	2通		2	1			1		
情報計測特別実験 I	1通		4	1	2 ±				教員配置見直しのため(28)
情報計測特別実験 II	1通		4	1			1		
情報計測特別実験 III	2通		4	1	2 ±				教員配置見直しのため(28)
情報計測特別実験 IV	2通		4	1			1		
情報メディア学特論 I	未開講 1・2前		2	1					隔年開講のため (29)
情報メディア学特論 II	未開講 1・2後		2		1		±		隔年開講のため (29) 教員配置見直しのため (28)
情報メディア学特論 III	未開講 1・2前		2	1					隔年開講のため (29)
情報メディア学演習 I	1通		2	1			2		
情報メディア学演習 II	2通 1通		2	1			2		時刻調整のため (29)
情報メディア学演習 III	1通 2通		2		1				時刻調整のため (29)
情報メディア学演習 IV	2通		2		1				
情報メディア学特別実験 I	1通		4	1			2		
情報メディア学特別実験 II	2通 1通		4	1			2		時刻調整のため (29)
情報メディア学特別実験 III	1通 2通		4		1				時刻調整のため (29)
情報メディア学特別実験 IV	2通		4		1				
情報セキュリティ特論	未開講 1・2前		2	1					隔年開講のため (29)
セキュリティ社会システム特論	1・2前 未開講 1・2前		2	1					隔年開講のため (29) 隔年開講のため (28)
情報セキュリティ演習 I	1通		2		1		±		教員配置見直しのため (29)
情報セキュリティ演習 II	2通		2		1		±		教員配置見直しのため (29)
情報セキュリティ特別実験 I	1通		4		1		±		教員配置見直しのため (29)
情報セキュリティ特別実験 II	2通		4		1		±		教員配置見直しのため (29)
応用解析学特論	1前 1後		2		1				時刻調整のため (29)
数理解析特論	1後		2		1				
応用数学演習 I	1・2通		2	1			1		教員配置見直しのため(28)
応用数学演習 II	1・2通		2		1		1		教員配置見直しのため(28)
応用数学演習 III	1・2通		2		1		1		教員配置見直しのため(28)
応用数学特別実験 I	1・2通		4	1			1		教員配置見直しのため(28)
応用数学特別実験 II	1・2通		4		1		1		教員配置見直しのため(28)
応用数学特別実験 III	1・2通		4		1		1		教員配置見直しのため(28)
物理工学特論 I	1後		2		1				
物理工学特論 II	1前		2		1				
応用物理演習 I	1通		2		1				
応用物理演習 II	2通		2		1				
応用物理特別実験 I	1通		4		1				
応用物理特別実験 II	2通		4		1				
学外特別講義	1・2通		2		1				
学外特別実習 I	1・2通		2		1				
学外特別実習 II	1・2通		2		1				
(研究指導)	1・2通			18	22		11		
水処理工学特論	1後		2		1				
水処理工学演習	1通		4		1				
水処理工学特別実験	1通		4		1				
資源エネルギーデバイス材料工学特論	1・2後 1・2前		2	1					時刻調整のため (28)
資源エネルギーデバイス材料工学演習	1・2通		4	1					
資源エネルギーデバイス材料工学特別実験	1・2通		4	1					

分野
共通

水環境 ユニット	水環境化学特論	1・2後 1・2前	2			1				時間割調整のため (28)	
	水環境化学演習	1・2通	4			1					
	水環境化学特別実験	1・2通	4			1					
	ナノカーボン分離工学特論	1・2前 未開講 1・2前 1・前	2			1				隔年開講のため (29) 時間割調整のため (28) 隔年開講のため (28)	
	ナノカーボン分離工学演習	1通	4			1					
	ナノカーボン分離工学特別実験	1通	4			1					
	カーボンエレクトロニクス工学特論	1前	2					1			
	カーボンエレクトロニクス工学演習	1通	4					1			
	カーボンエレクトロニクス工学特別実験	1通	4					1			
	土木 ユニット	橋梁工学特論	1前	2		1					
		橋梁工学演習	1通	4		1					
		橋梁工学特別実験	1通	4		1					
		水文学特論	1前	2			1				
		水文学演習	1通	4			1				
		水文学特別実験	1通	4			1				
		地域・交通計画特論	1・2後	2			1				
		地域・交通計画演習	1・2通	4			1				
		地域・交通計画特別実験	1・2通	4			1				
地盤環境工学特論		1後	2			1					
地盤環境工学演習		1通	4			1					
地盤環境工学特別実験		1通	4			1					
土木構造物の劣化診断特論		1・2後	2					1			
土木構造物の劣化診断演習		1・2通	4					1			
土木構造物の劣化診断特別実験		1・2通	4					1			
分野 共通		地盤防災工学	1前	2		1					
		地盤防災演習	1通	4		1					
		地盤防災特別実験	1通	4		1					
	水資源特論	1後	2		1						
	水資源演習	1通	4		1						
	水資源特別実験	1通	4		1						
	水保全工学特論	1後	2			1		+		教員の昇進のため (29)	
	水保全工学演習	1通	4			1		+		教員の昇進のため (29)	
	水保全工学特別実験	1通	4			1		+		教員の昇進のため (29)	
	数値解析特論	1後	2		1						
	数値解析演習	1通	4		1						
	数値解析特別実験	1通	4		1						
	計算構造力学	1・2前	2			1					
	計算構造力学演習	1・2通	4			1					
	計算構造力学特別実験	1・2通	4			1					
	地域環境計画特論	1・2後	2			1					
	地域環境計画演習	1・2通	4			1					
	地域環境計画特別実験	1・2通	4			1					
	応用解析学特論	1前 1後	2			1				時間割調整のため (29)	
	数理解析特論	1後	2			1					
	応用数学演習Ⅰ	1・2通	2		1			1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学演習Ⅱ	1・2通	2			1		1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学演習Ⅲ	1・2通	2			1		1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅰ	1・2通	4		1			1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅱ	1・2通	4			1		1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅲ	1・2通	4			1		1		教員配置見直しのため(28)	
	物理学特論Ⅰ	1後	2			1					
	物理学特論Ⅱ	1前	2			1					
	応用物理演習Ⅰ	1通	2			1					
	応用物理演習Ⅱ	2通	2			1					
	応用物理特別実験Ⅰ	1通	4			1					
	応用物理特別実験Ⅱ	2通	4			1					
	学外特別講義	1通	2			1					
学外特別実習	1通	2			1						
(研究指導)	1・2通			6	12		4				
精密 知能 機械 ユニット	システム制御特論	1前	2		1			+		教員配置見直しのため(28)	
	精密機構特論	1後	2		1						
	機械システム制御特論	1前	2			1					
	計測システム特論	1前	2			1					
	精密知能機械演習Ⅰ	1通	2			1					
	精密知能機械演習Ⅱ	1通	2			1					
	精密知能機械特別実験Ⅰ	1通	4			1					
	精密知能機械特別実験Ⅱ	2通	4			1					
環境	機械加工学特論	1後	2		1			1			
	動的システム設計特論	1後	2		1	1		+		教員の昇進のため (29)	
	塑性加工学特論	1後	2			1					
	構造物工学特論	1前	2			1					
	固体力学特論	1後 1前	2			1		+		時間割調整のため (29) 教員の昇進のため (29)	

機械システム工学分野

機械ユニット	エコマテリアル特論	1前	2	1						
	材料環境強度学特論	1前 1後	2		1				時間調整のため(28)	
	計算力学特論	1前	2				1			
	最適設計学特論	1後	2	1						
	環境機械演習Ⅰ	1通	2		1					
	環境機械演習Ⅱ	1通	2		1					
	環境機械特別実験Ⅰ	1通	4		1					
	環境機械特別実験Ⅱ	2通	4		1					
	乱流輸送現象特論	1前	2	1						
	熱流体数値計算法特論	1後	2	1			1			
	伝熱工学特論	1後	2		2				教員配置見直しのため(28)	
	流体力学特論	1後	2		1					
	熱流動解析学特論	1前	2		1					
	機械物理演習Ⅰ	1通	2		1					
機械物理演習Ⅱ	1通	2		1						
機械物理特別実験Ⅰ	1通	4		1						
機械物理特別実験Ⅱ	2通	4		1						
機械システム工学分野	超精密加工実習Ⅰ	1・2通	1	1	1					
	超精密加工実習Ⅱ	1・2通	1	1	1					
	超精密加工実習Ⅲ	1・2通	1	1	1					
	超精密加工実習Ⅳ	1・2通	1	1	1					
	先端精密加工実習	1・2後	1		1					
	超精密加工学特論Ⅰ	1・2前	2	1						
	超精密加工学特論Ⅱ	1・2前	2		1					
	超精密加工学特論Ⅲ	1・2前	1		1				兼2	
	発明的問題解決理論	1・2後	1		1					
	表面処理・計測評価技術特論	1・2通	2		1				兼1	
	先端材料学特論	1・2後	1						兼1	
	精密位置決め技術特論	1・2後	2	3						
	管理技術特論Ⅰ	1・2前	2		1				兼1	
	管理技術特論Ⅱ	1・2前	2		1				兼1	
	機械システム演習Ⅰ	1通	2		1					
	機械システム演習Ⅱ	2通	2		1					
	機械システム特別実験Ⅰ	1通	4		1					
	機械システム特別実験Ⅱ	2通	4		1					
	応用解析学特論	1前 1後	2		1				時間調整のため(29)	
	数理解析特論	1後	2		1					
	応用数学演習Ⅰ	1・2通	2	1			1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学演習Ⅱ	1・2通	2		1		1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学演習Ⅲ	1・2通	2		1		1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅰ	1・2通	4	1			1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅱ	1・2通	4		1		1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅲ	1・2通	4		1		1		教員配置見直しのため(28)	
	物理学特論Ⅰ	1後	2		1					
	物理学特論Ⅱ	1前	2		1					
	応用物理演習Ⅰ	1通	2		1					
	応用物理演習Ⅱ	2通	2		1					
	応用物理特別実験Ⅰ	1通	4		1					
	応用物理特別実験Ⅱ	2通	4		1					
	学外特別講義	1・2通	2		1					
	学外特別実習	1・2通	2		1					
	(研究指導)	1・2通		10	14	1	5			
	建築学ユニット	建築意匠設計学	1後	2		1				
		建築意匠設計学演習	1通	4		1				
		建築意匠設計学実験	2通	4		1				
		建築意匠設計インターンシップ	1通	4		1				
		建築保存再生設計学	1後	2	1					
		建築保存再生設計学演習	1通	4	1					
		建築保存再生設計学実験	2通	4	1					
建築保存再生設計インターンシップ		1通	4	1	1					
サステナブル建築設計学		1後	2		1					
サステナブル建築設計学演習		1通	4		1					
サステナブル建築設計学実験		1通	4		1					
空間構造設計学		1前	2		1		1		教員配置見直しのため(28)	
空間構造設計学演習		1通	4		1		1		教員配置見直しのため(28)	
空間構造設計学特別実験		1通	4		1		1		教員配置見直しのため(28)	
建築構造設計学Ⅰ		1後	2		1					
マトリクス構造解析演習		2通	4		1					
マトリクス構造解析実験		2通	4		1					
建築構造設計学Ⅱ		1前	2		1					
建築構造設計学演習		1通	4		1					
建築構造設計学実験		1通	4		1	1				
建築構造設計インターンシップ		1通	4		1	1				
建築設備設計学		1前	2		1	1		1	教員配置見直しのため(29)	

建築学分野	工業デザインユニット	建築設備設計学演習	1通	4	↓	1	1		教員配置見直しのため(29)	
		建築設備設計学実験	1通	4	↓	1	1		教員配置見直しのため(29)	
		建築設備設計インターンシップ	1通	4	2					
		建築環境設計学	1後	2	1	1			教員配置見直しのため(28)	
		建築環境設計学演習	2通	4	1	1			教員配置見直しのため(28)	
		建築環境設計学実験	2通	4	1	1			教員配置見直しのため(28)	
		建築心理学	1後	2		1				
		建築心理学演習	1通	4		1				
		建築心理学実験	2通	4		1				
		建築史学特論	1前 1後	2		1			時間割調整のため(28)	
	建築史学演習	1通	4		1					
	建築史学実験	2通	4		1					
	分野共通	応用解析学特論	1前 1後	2		1			時間割調整のため(29)	
		数理解析特論	1後	2		1				
		応用数学演習Ⅰ	1・2通	2	1		1		教員配置見直しのため(28)	
		応用数学演習Ⅱ	1・2通	2		1	1		教員配置見直しのため(28)	
		応用数学演習Ⅲ	1・2通	2		1	1		教員配置見直しのため(28)	
		応用数学特別実験Ⅰ	1・2通	4	1		1		教員配置見直しのため(28)	
		応用数学特別実験Ⅱ	1・2通	4		1	1		教員配置見直しのため(28)	
		応用数学特別実験Ⅲ	1・2通	4		1	1		教員配置見直しのため(28)	
物理学特論Ⅰ		1後	2		1					
物理学特論Ⅱ		1前	2		1					
サステイナブル エネルギー 材料科学	エネルギー材料科学特論Ⅰ	1・2後	2	1						
	エネルギー材料科学特論Ⅱ	1・2前	2	1	1			兼3 教員配置見直しのため(28)		
	エネルギーデバイス総論	1・2前	2	4				兼2		
	エネルギーシステム特論Ⅰ	1・2後	2	3	1			兼2		
	エネルギーシステム特論Ⅱ	1・2前	2	1	1					
	サステイナブル 水環境科学	水環境科学特論	1・2前 1・2通	2	2 1				兼4 時間割調整, 教員配置見直しのため(28)	
		水創成特論	1・2後	2	1 2	4 2			兼2 教員配置見直しのため(28)	
		水利用システム特論	1・2後	2	1	4 2	0 1		兼3 教員の昇進のため(29)	
		サステイナブル フード	食料機能学総論	1・2通	2	1				兼6 兼7 教員配置見直しのため(28)
			食資源利用学総論	1・2通	2					兼7 兼8 教員配置見直しのため(28)
フードビジネス総論	1・2通		2					兼6 兼7 教員配置見直しのため(28)		
食料生命科学総論	1・2通		2					兼7 兼8 教員配置見直しのため(28)		
食農生産システム工学特論	1・2通		2	4 6	4			兼1 教員配置見直しのため(28)		

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について, 設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても, 設置時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 427	科目 0	科目 429	科目 2 [0]	科目 432 [5]	科目 0 [0]	科目 434 [5]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	先進材料化学特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講の為
2	分子集合体化学特論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講の為
3	精密合成化学特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講の為
4	機能性食品特別講義Ⅰ	1	1・2通	専門	選択	隔年開講の為
5	計算機デバイス特論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講の為
6	応用情報工学Ⅱ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講の為
7	情報メディア学特論Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講の為
8	情報メディア学特論Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講の為
9	情報メディア学特論Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講の為
10	情報セキュリティ特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講の為

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目は当初から隔年開講の予定で平成28年度に既に開講、平成30年度に開講予定のため、学生の履修に影響はない。「平成29年度履修案内」（冊子）を配布して周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{10}{429} = \boxed{2.33}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	539,062㎡	0㎡	0㎡	539,062㎡			
	運動場用地	208,855㎡	0㎡	0㎡	208,855㎡			
	小 計	747,917㎡	0㎡	0㎡	747,917㎡			
	そ の 他	5,693,687㎡	0㎡	0㎡	5,693,687㎡			
	合 計	6,441,604㎡	0㎡	0㎡	6,441,604㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		434,207㎡ (434,207㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	434,207㎡ (434,207㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		27室	121室 118室	151室	1室 (補助職員 3人)	1室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		総合理工学研究科 工学専攻			119 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	総合理工学研究科 工学専攻	1,228,958 [360,852] (1,228,958 [360,852])	26,443 [9,045] (26,443 [9,045])	13,857 [12,632] (13,857 [12,632])	4,110 (4,110)	60,443 (60,443)	147,479 (147,479)	
	計	1,228,958 [360,852] (1,228,958 [360,852])	26,443 [9,045] (26,443 [9,045])	13,857 [12,632] (13,857 [12,632])	4,110 (4,110)	60,443 (60,443)	147,479 (147,479)	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		13,304㎡		1,611席	980,254冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
		8,085㎡		プール	武道場・弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.06	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	920	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大学西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	2年次 10	210	学士(経済学)	1.11	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	2年次 10	170	学士(法学)	1.09	〃	〃	
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 1	163	〃	1.03	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	3年次 3	456	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	715	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	〃
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	〃
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.01	平成15年度	〃	〃
理学療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度	〃	〃
作業療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士(保健学)	1.09	平成15年度	〃	〃

工学部									
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度	〃	〃
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
物質化学科	4	95		190	学士(工学)	1.03	平成28年度	〃	〃
電気情報システム工学科	4	170		340	〃	1.03	〃	〃	〃
水環境・土木工学科	4	60		120	〃	1.08	〃	〃	〃
機械システム工学科	4	100		200	〃	1.07	〃	〃	〃
建築学科	4	60		120	〃	1.06	〃	〃	〃
農学部									
食料生産科学科	4	—		—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—		—	〃	—	〃	〃	〃
応用生命科学科	4	—		—	〃	—	〃	〃	〃
農学生命科学科	4	170	3年次 ₆	516	〃	1.05	平成27年度	〃	〃
繊維学部									
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃	〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65		130	学士(工学)	1.05	平成28年度	〃	〃
機械・ロボット学科	4	60		120	〃	1.06	〃	〃	〃
化学・材料学科	4	105		210	〃	1.00	〃	〃	〃
応用生物科学科	4	50		100	学士(農学)	1.08	〃	〃	〃

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	"	1.10	"	"	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		40	修士(教育学)	1.30	平成3年度	長野県長野市大学西長野6の口	
高度教職実践専攻	2	20		40	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	"	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.83	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.65	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
地球生物圏科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	"
電気電子工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
土木工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
建築学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
物質工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
情報工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
環境機能工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
繊維・感性工学専攻	2	—		—	"	—	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	"
機械・ロボット学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
化学・材料専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	"	"	"
農学研究科									
森林科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成4年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		150	修士(理学)	0.85	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		480	修士(工学)	1.03	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		320	修士(工学) 修士(農学)	1.15	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		130	修士(農学)	0.93	"	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		70	修士(医工学)	1.18	"	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科								
医科学専攻（修士課程）	2	12	24	修士(医科学)	0.87	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14	28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.24	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40	160	博士(医学)	1.01	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8	32	〃	0.81	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—	—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工医学系専攻（博士課程）	4	—	—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—	—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4	12	博士(保健学)	1.16	平成21年度	〃	
総合工学系研究科								
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15	45		0.95	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12	36	博士(学術)	0.99	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7	21	博士(理学) 博士(工学)	0.85	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8	24	博士(農学)	0.70	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生物・食料科学専攻	3	7	21		0.99	〃		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合理工学研究科 工学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	清水 茂	平成28年4月	橋梁工学特論 橋梁工学演習 橋梁工学特別実験	専	教授	大上 俊之	平成29年4月	橋梁工学特論 橋梁工学演習 橋梁工学特別実験	平成29年3月清水教授定年退職 平成29年4月から教員配置見直しのため 教員変更(29)
専	教授	浅野 良晴	平成28年4月	建築設備設計学 建築設備設計学演習 建築設備設計学実験	専	准教授	高村 秀紀	平成29年4月	建築設備設計学 建築設備設計学演習 建築設備設計学実験	平成29年3月浅野教授定年退職 平成29年4月から教員配置見直しのため 教員変更(29)
専	教授	齊藤 保典	平成28年4月	情報計測演習Ⅱ 情報計測演習Ⅳ 情報計測特別実験Ⅱ 情報計測特別実験Ⅳ 食農生産システム工学特論						
								平成28年4月	水環境科学特論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					専	准教授	岩井 一博	平成28年4月	建築環境設計学 建築環境設計学演習 建築環境設計学実験	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					専	准教授	杉岡 秀行	平成28年4月	伝熱工学特論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
専	准教授	清野 竜太郎	平成28年4月	水環境化学特論 水環境化学演習 水環境化学特別実験 応用食品プロセス工学 水創成特論 水利用システム特論 食農生産システム工学特論				平成28年4月	食品プロセス実習	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
								平成28年4月	食品プロセス実習	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
専	准教授	内田 博久	平成28年4月	生物化学工学特論 バイオ・プロセス工学特別実験Ⅱ	兼任	特任教授	内田 博久	平成28年10月	生物化学工学特論	平成28年10月から 平成28年9月30日准教授辞任のため、専任 から兼任へ変更(29)
					兼任	教授	天野 良彦	平成29年4月	バイオ・プロセス工学特別実験Ⅱ	平成29年4月から H28年9月30日准教授退職のため教員変更 (29)
専	准教授	野崎 功一	平成28年4月	バイオ・プロセス工学特別実験Ⅰ 食品バイオテクノロジー				平成28年4月	食品バイオテク実習	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
専	准教授	笹森 文仁	平成28年4月	無線信号処理特論 無線信号処理演習 無線信号処理特別実験	専	教授	笹森 文仁	平成29年4月		平成29年4月教授昇進(29)
専	准教授	高村 秀紀	平成28年4月	サステイナブル建築設計学 サステイナブル建築設計学演習 サステイナブル建築設計学実験 空間構造設計学 空間構造設計学演習 空間構造設計学特別実験	専	助教	羽藤 広輔	平成28年4月	空間構造設計学 空間構造設計学演習 空間構造設計学特別実験	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員変更(28)
専	講師	西村 正臣	平成28年4月	固体力学特論	専	准教授	西村 正臣	平成29年4月		平成29年4月准教授昇進(29)
					兼任	准教授	阿部 誠	平成28年4月	情報計測演習Ⅰ 情報計測演習Ⅲ 情報計測特別実験Ⅰ 情報計測特別実験Ⅲ	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
専	助教	白井 啓一郎	平成28年4月	知能情報演習Ⅰ 知能情報演習Ⅲ	専	准教授	白井 啓一郎	平成29年4月		平成29年4月准教授昇進(29)
				情報メディア学特論Ⅱ	専	准教授	小林 一樹	平成28年4月	情報メディア学特論Ⅱ	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員変更(28)
専	助教	國宗 永佳	平成28年4月	情報セキュリティ演習Ⅰ 情報セキュリティ演習Ⅱ 情報セキュリティ特別実験Ⅰ 情報セキュリティ特別実験Ⅱ						平成29年3月助教辞任(29) 「情報セキュリティ演習Ⅰ」、「情報セキュリティ演 習Ⅱ」、「情報セキュリティ特別実験Ⅰ」、「情報セ キュリティ特別実験Ⅱ」については他に担当教員が いるため支障はない。
専	助教	豊田 政史	平成28年4月	水保全工学特論 水保全工学演習 水保全工学特別実験 水利用システム特論	専	准教授	豊田 政史	平成29年4月		平成29年4月准教授昇進(29)
専	助教	山崎 公俊	平成28年4月	動的システム設計特論	専	准教授	山崎 公俊	平成29年4月		平成29年4月准教授昇進(29)

					専 助教	BU YINGGANG	平成28年4月	磁気回路特論 磁気回路システム演習 磁気回路システム特別実験	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)	
専	助教	池田 裕一	平成28年4月	システム制御特論					平成28年3月助教就任辞退 (28) 「システム制御特論」については他に担当教員がいるため支障はない。	
					専 助教	浦上 法之	平成28年4月	電子材料特論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)	
					専 助教	岡本 葵	平成28年4月	応用数学演習 I 応用数学演習 II 応用数学演習 III 応用数学特別実験 I 応用数学特別実験 II 応用数学特別実験 III	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)	
					専 助教	清水 雅裕	平成28年4月	材料表面工学 電気化学演習 電気化学特別実験 I 電気化学特別実験 II	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)	
					専 助教	LEE SIHWAN	平成29年4月	建築設備設計学 建築設備設計学演習 建築設備設計学実験	平成29年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (29)	
兼担	教授	天野 良彦	平成28年4月	生物化学特論 バイオ・プロセス工学演習 I 食品バイオテクノロジー						
							平成28年4月	食品バイテク実習 食品プロセス実習	平成28年4月から カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
					兼担	教授	石田 文宏	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	教授	金井 誠	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	教授	中沢 洋三	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	教授	池上 俊彦	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	教授	杉山 暢宏	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
兼担	准教授	片岡 正和	平成28年4月	分子生物学特論 バイオ・プロセス工学演習 II 食品バイオテクノロジー						
							平成28年4月	食品バイテク実習	平成28年4月から カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
					兼担	准教授	青木 薫	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	准教授	吉村 康夫	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	講師	伊東 清志	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	講師	瀬戸 達一郎	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	教授	岡本 拓也	平成28年4月	研究者倫理特別講義 (GITI-Japan&講義) 科学技術政策特論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
兼担	教授	倪 慶清	平成28年4月	エネルギー材料科学特論 II					平成28年4月から 教員配置見直しのため教員削除 (28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。	
兼担	教授	鮑 力民	平成28年4月	エネルギー材料科学特論 II					平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除 (28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。	
兼担	准教授	夏木 俊明	平成28年4月	エネルギー材料科学特論 II					平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除 (28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。	
兼担	助教	米倉 真一	平成28年4月	先進応用生命科学特論	兼担	准教授	米倉 真一	平成28年4月	食料機能学総論	平成28年4月 教員配置見直しのため教員追加 (28)
兼担	教授	中村 宗一郎	平成28年4月	食料機能学総論 食資源利用学総論 フードビジネス総論 食料生命科学総論					平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除 (28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。	
兼担	教授	南 峰夫	平成28年4月	食料機能学総論					平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除 (28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。	
					兼任	特任教授	松澤 恒友	平成28年4月	食品科学 機能性食品特別講義 I 機能性食品特別講義 II	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)

- ・ 設置時の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AO教員審査）を受けてください。**AO教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
35	24	0
名	名	名

- ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
42	55	2	23	122	41	57	1	23	122	42	55	2	23	122
(43)	(56)	(2)	(25)	(126)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
112	5	5			110	5	7			112	5	5		
(111)	(5)	(10)								[0]	[0]	[0]		

- ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	助教	池田 裕一	選択	システム制御特論	①	退職のため就任辞退（28）	
合計（A）			後任補充状況の集計（B）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	1 科目	計	1 科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	清水 茂	選択	橋梁工学特論	①	平成29年3月定年退職のため辞任（29）	
			選択	橋梁工学演習	①		
			選択	橋梁工学特別実験	①		
2	教授	浅野 良晴	選択	建築設備設計学	①	平成29年3月定年退職のため辞任（29）	
			選択	建築設備設計学演習	①		
			選択	建築設備設計学実験	①		
3	准教授	内田 博久	選択	生物化学工学特論	②	平成28年9月自己都合退職のため辞任（29）	
			選択	バイオ・プロセス工学特別実験Ⅱ	②		
4	助教	國宗 永佳	選択	情報セキュリティ演習Ⅰ	①	平成29年3月自己都合退職のため辞任（29）	
			選択	情報セキュリティ演習Ⅱ	①		
			選択	情報セキュリティ特別実験Ⅰ	①		
			選択	情報セキュリティ特別実験Ⅱ	①		
合計（C）			後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
4	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	12 科目	選択	10 科目	選択	2 科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	12 科目	計	10 科目	計	2 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A) + (C)		後任補充状況の集計(B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
4 人	必修 科目	必修 科目	必修 科目	必修 科目	必修 科目	必修 科目	必修 科目
	選択 13 科目	選択 11 科目	選択 2 科目	選択 2 科目	選択 科目	選択 科目	選択 科目
	自由 科目	自由 科目	自由 科目	自由 科目	自由 科目	自由 科目	自由 科目
	計 13 科目	計 11 科目	計 2 科目	計 2 科目	計 科目	計 科目	計 科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

定年退職及び自己都合退職した教員の担当予定科目は、専任教員の交代及び兼任教員の補充により問題なく開講している。
 担当教員変更について、年度当初については履修案内(冊子)の配布により学生に周知をし、また、年度途中での交代についてはその都度、掲示板への掲示及びキャンパス情報システム(学生向け情報配信システム)により学生に周知をしている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<総合理工学研究科 工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

工学部学務委員会にてFD活動計画を作成し、教員会議において、大学院担当教員を含めた全教職員に向けたFDを実施する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

学務委員会は、原則月に1回、年間に15回以上開催する（メール審議、臨時委員会を含む）

c 委員会の審議事項等

教務に関すること、厚生補導に関すること、課外活動施設・福利施設の運営に関すること、若里寮の管理運営に関すること、その他学務に関すること。

信州大学工学部学務委員会内規

（設置）

第1条 信州大学工学部（信州大学大学院総合工学系研究科及び総合理工学研究科の長野（工学）キャンパス関係の専攻を含む。）に、信州大学工学部学務委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（職務）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項をつかさどる。

- 一 教務に関すること。
- 二 厚生補導に関すること。
- 三 留学生に関すること。
- 四 課外活動施設、福利施設の運営に関すること。
- 五 若里寮の管理運営に関すること。
- 六 その他学務に関すること。

（組織）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 各学科から選出された教員 各1名
- 二 その他委員会が必要と認める者
- 2 前項に規定する委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。
- 3 第1項に規定する委員に欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第4条 委員会に委員長並びに教務担当副委員長及び学生担当副委員長を置く。

- 2 委員長は前年度教務担当副委員長をもって、教務担当副委員長は前年度学生担当副委員長をもって充て、学生担当副委員長は教員会議において選出する。
- 3 委員長及び各副委員長の任期は、1年とする。
- 4 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

5 教務担当副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(議事)

第5条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開くことができない。

(ワーキンググループ)

第6条 委員会に、委員会の実務を行うため、ワーキンググループを置くことができる。

2 ワーキンググループに関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(委員以外の者の出席等)

第7条 委員会が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、学務グループ(学務)において処理する。

(雑則)

第9条 この内規に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員会において定める。

附 則

1 この内規は、平成14年5月1日から実施する。

2 信州大学工学部教務委員会内規、信州大学工学部学生委員会内規、信州大学工学部留学生委員会内規、信州大学工学部福利施設運営委員会内規、信州大学工学部若里寮運営委員会内規及び共通教育専門部会要項は、廃止する。

3 前項の規定により廃止される工学部教務委員会、工学部学生委員会、工学部留学生委員会、工学部福利施設運営委員会及び工学部若里寮運営委員会の職務は、委員会が継承するものとする。

4 平成14年4月30日現在、教務委員会、学生委員会、留学生委員会の委員長である者は、委員長からの委員会への出席要請に応ずるものとする。

5 この内規実施の際、最初の委員長及び教務担当副委員長は、教官会議において選出する。

附 則

この内規は、平成24年12月18日から実施する。

附 則

1 この内規は、平成28年4月1日から施行する。

2 理工学系研究科が存続するまでの間、この内規中「総合理工学研究科」を「総合理工学研究科及び理工学系研究科」と読み替えて適用するものとする。

② 実施状況

a 実施内容

以下の内容のFDセミナーを開催した。

- ・ 「障害学生の支援について」「障害学生支援の法整備について」
- ・ トビタテ！留学JAPANについて
- ・ 科研費のとりかたについて
- ・ ベストティーチャー(8名)によるFDセミナー(授業公開5週分を含む)

b 実施方法

全教員が出席する教員会議内において実施し、多くの教員の出席を促している。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

平成28年度においてはFDを4回(障害学生支援2回、学生海外派遣1回、科研費1回)実施し、全ての回で80名以上の出席があった。また工学部教員が講師を務める他部局主催のFD(e-learning利用)を1回実施し、出席者は20名であった。併せて、例年学生が選出するベストティーチャーによるFDセミナーを実施している。5週分の授業公開を含み、ベストティーチャーが授業方法について全教員の前で講義を行う。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

障害学生が増加している昨今、実際に配慮を希望している障害学生の所属学科において、合理的配慮に適した授業運用を検討している。学生の海外派遣件数が、この数年で実際に増加している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成28年度から「授業改善アンケート」ではなく「授業アンケート」として、主に学生自身が各授業で何を得たかを振り返ることを目的としたアンケートを実施している。一部、授業担当教員の授業運用について問うている。

実施時期は年2回、学期に1回、授業期間の後半(終盤)に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は担当授業に関するアンケート結果は全てWeb上で閲覧可能であり、必要があれば学生（無記名）コメントに対するコメント返信を行う。学生は当該学期に履修登録済みの授業全ての回答結果（集計後）と、教員からのコメントをWeb上で閲覧可能である。

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、設置計画どおりに進め、当初設定したとおりに実現している。

旧7専攻を工学専攻としてひとまとめにし、「研究者倫理特別講義」、「実験的工学手法」などの研究科共通科目・専攻共通科目を設定したことにより、研究者としての倫理形成、自分の研究分野だけでなく工学に関する周辺領域の知識を学生に身につけさせることが可能となった。専攻内に「分野」「ユニット」を設けて、学部内の課程教育との接続性を明確にしたことにより、6年一貫教育を推進する体制を構築できた。今後は、更なる教育・研究水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け、引き続き取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- 1) 平成29年度以降
- 2) 平成32年5月 公表予定

b 公表方法

- 1) 大学で実施する自己点検・評価に基づき、各事業年度及び中期目標期間内における業務実績に係る「自己点検評価報告書」を作成し大学ホームページ上に公表する。
- 2) 大学全体において自己点検・評価を行い、大学ホームページ上に公表する。

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 大学全体において、平成31年度に外部評価を含む自己点検評価を行うとともに、平成32年度に機関別認証評価を受審する予定である。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年6月1日公表予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人信州大学

(2) 大学名

信州大学大学院

(3) 大学の位置

〔松本キャンパス〕（大学本部）〒390-8621
長野県松本市旭3丁目1番1号
〔長野（工学）キャンパス〕 〒380-8553
長野県長野市若里4丁目17番1号
〔上田キャンパス〕 〒386-8567
長野県上田市常田3丁目15番1号
〔伊那キャンパス〕 〒399-4598
長野県上伊那郡南箕輪村8304

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハマダ クニヒロ) 濱田 州博 (平成27年10月1日)		
研究科長	(オゼキ スミオ) 尾関 寿美男 (平成28年4月1日)	(イチノ タカオ) 市野 隆雄 (平成29年4月1日)	任期満了に伴う交代 平成29年4月1日就任 (29)
専攻長	(シモサカ マコト) 下坂 誠 (平成28年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
総合理工学研究科 繊維学専攻(修士課程)	工学関係	2	160	320	基礎となる学部等
修士(工学) 修士(農学)	農学関係				繊維学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員超過率		備考
	平成28年度	平成29年度			
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
A 入学定員	160 (若干人) [若干人]	160 (若干人) [若干人]			1.15倍 1.18倍
志願者数	207 (2) [9]	1 (0) [0]	202 (-) [15]	() []	
受験者数	206 (2) [8]	1 (0) [0]	201 (-) [14]	() []	
合格者数	196 (2) [8]	0 (0) [0]	190 (-) [12]	() []	
B 入学者数	190 (2) [8]	0 (0) [0]	182 (-) [12]	() []	
入学定員超過率 B/A	1.18		1.13		

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。

- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	190 [8] (-)	- [-] (-)	182 [12] (-)	[] ()	
2年次	/		190 [8] (-)	[] ()	
計	190 [8] (-)		372 [20] (-)		

- (注)
- ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	190 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	182 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	372 192 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合理工学研究科 繊維学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	Introduction to Modern Astrophysics	1・2前		2							兼1	
	MOT特論	1・2通		2							兼1	
	産学連携特別講義	1・2通		2		1						
	国際連携特別講義I	1・2通		1		1						
	国際連携特別講義II	1・2通		1		1						
	科学英語	1・2後		2							兼1	
	大学院と社会	1・2前		2							兼1	
	臨床医学概論	1・2後		2							兼14 兼5	教員配置見直しのため(28)
	研究者倫理特別講義(CITI-Japan&講義)	1・2前	2								兼2 兼1	教員配置見直しのため(28)
	科学技術政策特論	1・2後		2							兼2 兼1	教員配置見直しのため(28)
	学外特別講義(長期)	1・2通		2							兼1	
	学外特別実習(長期)	1・2通		2							兼1	
通専科目共	繊維技術士特論	1・2通		2		1					兼5	教員配置見直しのため(28)
	Textile Technology	1・2通		2			1					
先進繊維工学ユニット	繊維材料学特論	1前		2		1						
	ヤーンテクノロジー特論	1前		2							兼1	
	テキスタイルデザイン特論	1後		2		1	1					
	先進繊維システム管理学特論	1前		2		1						
	インテリア工学特論	1後		2		1						
	先進繊維計測学特論	1前		2		1						
	繊維信号解析学特論	1前		2			1					
	繊維製品快適性評価特論	1前		2		1						
	繊維文化財学特論	1後		2			1					
	先進繊維工学演習Ⅰ	1前	1			5	2		±2			教員配置見直しのため(28)
	先進繊維工学演習Ⅱ	1後	1			5	2		±2			教員配置見直しのため(28)
	先進繊維工学演習Ⅲ	2前	1			5	2		±2			教員配置見直しのため(28)
	先進繊維工学演習Ⅳ	2後	1			5	2		±2			教員配置見直しのため(28)
	先進繊維工学特別実験Ⅰ	1前	2			5	2		±2			教員配置見直しのため(28)
	先進繊維工学特別実験Ⅱ	1後	2			5	2		±2			教員配置見直しのため(28)
	先進繊維工学特別実験Ⅲ	2前	2			5	2		±2			教員配置見直しのため(28)
	先進繊維工学特別実験Ⅳ	2後	2			5	2		±2			教員配置見直しのため(28)
	先進繊維・感性工学分野	製品生理学特論	1前		2			1				
感性計測特論		1後		2		1	1	±				教員の昇進のため(28)
感性デザイン特論		1前		2		1						
認知心理学特論		1前		2							兼1	
感性情報工学特論		1前		2		1						
知能情報学特論		1前		2			1					
感性文化論		1前		2							兼1	
感性材料学特論		1前		2			1					
感性繊維化学特論		1後		2			1					
感性製品工学特論		1後		2							兼1	
感性製品設計特論		1後		2		1						
衣服工学特論		1後		2		1				1		
感性工学演習Ⅰ	1前	1			5	5	7	±	±1		教員の昇進のため(28)	
感性工学演習Ⅱ	1後	1			5	5	7	±	±1		教員の昇進のため(28)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	感性工学演習Ⅲ	2前	1			5	5	7	±	2	1	教員の昇進のため(28)
	感性工学演習Ⅳ	2後	1			5	5	7	±	2	1	教員の昇進のため(28)
	感性工学特別実験Ⅰ	1前	2			5	5	7	±	2	1	教員の昇進のため(28)
	感性工学特別実験Ⅱ	1後	2			5	5	7	±	2	1	教員の昇進のため(28)
	感性工学特別実験Ⅲ	2前	2			5	5	7	±	2	1	教員の昇進のため(28)
	感性工学特別実験Ⅳ	2後	2			5	5	7	±	2	1	教員の昇進のため(28)
分野共通	繊維感性工学特論	1前	2			10	6	7	±			教員の昇進のため(29)
	マーケティング特論	1後		2		1						
	English Presentation	1後		2			1					
	インターンシップ実習	1・2通		1		1						
	インターンシップ実習	1・2通		2		1						
機械・ロボット学分野	ナノ融合材料学特論	1後		2				1				
	複合材料力学特論	1後		2		1						
	破壊力学特論	1後		2		1						
	振動解析学特論	1前		2			1					
	熱工学特論	1前		2		1						
	流体力学特論	1前		2			1					
	電子工学特論	1前		2		1						
	ロボット工学特論	1前		2			1					
	宇宙工学特論	1後		2			±		1		兼1	教員配置見直しのため(28)(29)
	非線形制御特論	1後		2			1					
	機械・ロボット学演習Ⅰ	1前	1			4	6	5		1		教員配置見直しのため(28)(29)
	機械・ロボット学演習Ⅱ	1後	1			4	6	5		1		教員配置見直しのため(28)(29)
	機械・ロボット学演習Ⅲ	2前	1			4	6	5		1		教員配置見直しのため(28)(29)
	機械・ロボット学演習Ⅳ	2後	1			4	6	5		1		教員配置見直しのため(28)(29)
	機械・ロボット学特別実験Ⅰ	1前	2			4	6	5		1		教員配置見直しのため(28)(29)
	機械・ロボット学特別実験Ⅱ	1後	2			4	6	5		1		教員配置見直しのため(28)(29)
機械・ロボット学特別実験Ⅲ	2前	2			4	6	5		1		教員配置見直しのため(28)(29)	
機械・ロボット学特別実験Ⅳ	2後	2			4	6	5		1		教員配置見直しのため(28)(29)	
インターンシップ実習	1・2通		1		1							
インターンシップ実習	1・2通		2		1							
ファイバー材料工学ユニット	移動現象論特論	1前		2		1						
	無機材料化学特論	1前		2		1						
	光材料化学特論	1前		2		1						
	プロセス開発工学特論	1後		2			1					
	環境資源化学特論	1後		2		1						
	半導体工学	1前		2			1					
	材料反応設計特論	1前		2		1						
	界面科学特論	1後		2			1					
	反応システム工学特論	1前		2			1					
	生命機能高分子学特論Ⅰ	1前		2			1					
機能高分子学ユニット	生命機能高分子学特論Ⅱ	1後		2			1					
	生命機能高分子学特論Ⅲ	1前		2		1						
	ファイバー・機能材料学特論Ⅰ	1前		2		1	±					教員の昇進のため(29)
	ファイバー・機能材料学特論Ⅱ	1後		2			1					
	ファイバー・機能材料学特論Ⅲ	1前		2		1						
	合成高分子学特論Ⅰ	1前		2		1						
	合成高分子学特論Ⅱ	1後		2		1						
	分子集合機能学特論Ⅰ	1後 1前		2		1						時間割調整のため(28)
	分子集合機能学特論Ⅱ	1通		2		1						
	分子集合機能学特論Ⅲ	1後		2			1					
化学・材料分野 応用分子化学ユ	分子化学特論Ⅰ	1後		2			1					
	分子化学特論Ⅱ	1前		2			1					
	反応化学特論Ⅰ	1前		2		1						
	反応化学特論Ⅱ	1後		2			1					
	反応化学特論Ⅲ	1前		2			1					
構造化学特論Ⅰ	1後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ニット	構造化学特論Ⅱ	1前		2			1					
	構造化学特論Ⅲ	1後		2			1					
	機能化学特論Ⅰ	1前 1後		2		1						時間割調整のため(28)
	機能化学特論Ⅱ	1前		2			1					
	機能化学特論Ⅲ	1後		2		1	1					教員の昇進のため(28)
	機能化学特論Ⅳ	1前		2			1					
分野共通	化学・材料演習Ⅰ	1前	1			4 4 16	4 4 16			4		教員の昇進のため(28)(29)
	化学・材料演習Ⅱ	1後	1			4 4 16	4 4 16			4		教員の昇進のため(28)(29)
	化学・材料演習Ⅲ	2前	1			4 4 16	4 4 16			4		教員の昇進のため(28)(29)
	化学・材料演習Ⅳ	2後	1			4 4 16	4 4 16			4		教員の昇進のため(28)(29)
	化学・材料特別実験Ⅰ	1前	2			4 4 16	4 4 16			4		教員の昇進のため(28)(29)
	化学・材料特別実験Ⅱ	1後	2			4 4 16	4 4 16			4		教員の昇進のため(28)(29)
	化学・材料特別実験Ⅲ	2前	2			4 4 16	4 4 16			4		教員の昇進のため(28)(29)
	化学・材料特別実験Ⅳ	2後	2			4 4 16	4 4 16			4		教員の昇進のため(28)(29)
	化学・材料特別講義	1前		2		4 4 16	4 4 16			4		教員の昇進のため(28)(29)
	インターンシップ実習	1・2通		1		1						
	インターンシップ実習	1・2通		2		1						
応用生物科学分野	応用生態学特論Ⅰ	1前		1		1						
	応用生態学特論Ⅱ	1前		1		1						
	保全環境学特論	1前		2		1						
	農産製造学特論	1前		2			1					
	資源微生物学特論	1前		2			1					
	応用微生物学特論	1後		2						1		
	応用昆虫学特論	1前		2			1					
	発生生物学特論	1前		2			1					
	蛋白質工学特論	1前		1			1			1		教員の昇進のため(29)
	応用生物科学英語	1前		1			1			1		教員の昇進のため(29)
	家畜生産学特論	1後		2		1						
	蚕利用学特論Ⅰ	1前		1		1						
	蚕利用学特論Ⅱ	1前		1		1						
	先進栽培学特論	1後		2		1						
	植物工学特論	1前		2			1					
	細胞生物学特論	1前		2			1			1		教員の昇進のため(29)
	シルク加工利用学特論	1後		2		1						
	分子育種学特論Ⅰ	1前		1			1					
	分子育種学特論Ⅱ	1前		1			1					
	生体材料科学特論	1後		2			1			1		教員配置見直しのため(29)
	育種工学特論	1前		2		1						
	ゲノム機能工学特論	1前		2			1					
	発酵食品学特論	1前		2		1						
	遺伝子機能科学特論	1後		2		1						
	バイオマス繊維生産利用学特論	1前		2		1						
	応用生物科学特論	1通		1								兼1
	応用生物科学演習Ⅰ	1前	1			4 10	7 9			4 2		教員配置見直しのため(29)
	応用生物科学演習Ⅱ	1後	1			4 10	7 9			4 2		教員配置見直しのため(29)
	応用生物科学演習Ⅲ	2前	1			4 10	7 9			4 2		教員配置見直しのため(29)
	応用生物科学演習Ⅳ	2後	1			4 10	7 9			4 2		教員配置見直しのため(29)
	応用生物科学特別研究Ⅰ	1前	2			4 10	7 9			4 2		教員配置見直しのため(29)
応用生物科学特別研究Ⅱ	1後	2			4 10	7 9			4 2		教員配置見直しのため(29)	
応用生物科学特別研究Ⅲ	2前	2			4 10	7 9			4 2		教員配置見直しのため(29)	
応用生物科学特別研究Ⅳ	2後	2			4 10	7 9			4 2		教員配置見直しのため(29)	
インターンシップ実習	1・2通		1		1							
インターンシップ実習	1・2通		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
エネルギーコース サステイナブルエネルギー グローバル人材養成プログラム	エネルギー材料科学特論Ⅰ	1・2後		2							兼1	
	エネルギー材料科学特論Ⅱ	1・2前		2		2	1				兼2	教員配置見直しのため(28)
	エネルギーデバイス総論	1・2前		2		1	1				兼4	
	エネルギーシステム特論Ⅰ	1・2後		2							兼6	
	エネルギーシステム特論Ⅱ	1・2前		2							兼2	
	水環境科学特論	1・2前通		2		2					兼4 兼3	時間割調整, 教員配置見直しのため(28)
	水創成特論	1・2後		2							兼7	
	水利用システム特論	1・2後		2							兼8	
	食料機能学総論	1・2通		2							兼7 兼8	教員配置見直しのため(28)
	食資源利用学総論	1・2通		2							兼7 兼8	教員配置見直しのため(28)
サステイナブルフードコース	フードビジネス総論	1・2通		2							兼6 兼7	教員配置見直しのため(28)
	食料生命科学総論	1・2通		2							兼7 兼8	教員配置見直しのため(28)
	食農生産システム工学特論	1・2通		2							兼9	
	繊維系合同研修	1通		2							兼3	
	繊維系資格概論	1・2通		2		1					兼2	
基幹科目 繊維・ファイバー工学コース	アカデミックインターンシップ(国内)	1・2通		2		1					兼3	
	アカデミックインターンシップ(海外)	1・2通		2		1					兼2	
	海外繊維・ファイバー工学事情Ⅰ	1・2通		2							兼4 兼3	教員配置見直しのため(29)
	海外繊維・ファイバー工学事情Ⅱ	1・2通		2		1					兼2	
	繊維基礎科学	1・2通		2			1				兼2	
	ファイバーネット グローバルネットワークを先導するグローバルリーダーの養成プログラム 共通分野 フロンティア分野	英語技法特論Ⅰ	1前	2				1				
英語技法特論Ⅱ		1後	2				1					
MOT		1・2通	2			1					兼1	教員配置見直しのため(28)
ファイバー基礎実習		1前	1		1	1						教員配置見直しのため(28)(29)
Textile Fundamentals I		1後	2		1							
研究室ローテーションⅠ		1通	1		1							
ものづくり・ことづくり演習Ⅰ(チームワーキング)		1前	1		1							
International Topics on Fiber Engineering I		1通	3		1							
英語技法特論Ⅲ		2前	2				1					
英語技法特論Ⅳ		2後	2				1					
ファイバーイノベーション概論		2前	2		1							
Textile Fundamentals II		2後	2		1							
研究室ローテーションⅡ		2通	1		1							
ものづくり・ことづくり演習Ⅱ(チームワーキング)		2前	1		1							
International Topics on Fiber Engineering II		2通	3		1							
テキスタイル基礎実習		1後1前1通	1		1					1		時間割調整のため(28)(29) 教員配置見直しのため(29)
繊維・ファイバー工学特別実験		2前	1		1		1					教員配置見直しのため(28)(29)
サプライチェーン		1通		2		1						
プロダクトデザイン		1後1前		2		1						時間割調整のため(28)
マーケティング		1後		2		1						
知的財産	1通		2		1					兼1	教員配置見直しのため(28)	
工業経済学	1通		2							兼1		
科学哲学	1後		2							兼1		
日本文化論	1前		2							兼1		
比較文化論	1前		2							兼1		
技術者倫理	1後		2							兼1		
フロンティア分野	ナノファイバー工学特論	1後		2			1					
ヤーンテクノロジー	1後1前		2							兼1	時間割調整のため(28)	
高機能繊維設計特論	1前		2				1					
高性能繊維設計特論	1前		2			1						
ナノマテリアル工学特論	1後		2			1						
機能高分子工学特論	1前		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
バイオ・メデイカル分野	シルク利用工学	1後		2		1						
	バイオファイバー科学	1前		2		1	1					
	医用材料特論	1後		2							兼1	
	繊維生物資源学	1前		2		1						
	生体分子機能科学	1前 1後		2		1						時間割調整のため(28)
	バイオマス利用工学	1前		2		1						
スマートテキスタイル分野	バイオミメティック科学	1通 1後		2		1					兼1	時間割調整, 教員配置見直しのため(28)
	複合材料設計学特論	1後		2		1						
	e-Textile設計特論	1後		2		1						
	プロテクティブテキスタイル特論	1後		2		2	1					
	テキスタイルデザイン特論	1後		2		1						
	先進繊維計測学特論	1前		2		1						
感性・ファッション工学分野	繊維集合体特論	1後		2						1		
	ファッションデザイン論	1前 1後		2							兼1	時間割調整のため(28)
	衣服設計論	1後		2		1				1		
	感性情報工学特論	1前		2		1						
	感性製品計測・評価法特論	1後		2		±2	1					教員配置見直しのため(29)
	製品生理学特論	1前 1後		2			1					時間割調整のため(29)
	繊維製品生産論	1後		2							兼1	

- (注)・認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
59	167	0	226	59	167	0	226	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{226} = \boxed{0.00} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	539,062㎡	0㎡	0㎡	539,062㎡			
	運 動 場 用 地	208,855㎡	0㎡	0㎡	208,855㎡			
	小 計	747,917㎡	0㎡	0㎡	747,917㎡			
	そ の 他	5,693,687㎡	0㎡	0㎡	5,693,687㎡			
	合 計	6,441,604㎡	0㎡	0㎡	6,441,604㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		434,207㎡ (434,207㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	434,207㎡ (434,207㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		19室	25室	144室	1室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		総合理工学研究科 繊維学専攻			89 87 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	総合理工学研究 科 繊維学専攻	1,228,958 [360,852] (1,228,958 [360,852])	26,443 [9,045] (26,443 [9,045])	13,857 [12,632] (13,857 [12,632])	4,110 (4,110)	60,443 (60,443)	147,479 (147,479)	
	計	1,228,958 [360,852] (1,228,958 [360,852])	26,443 [9,045] (26,443 [9,045])	13,857 [12,632] (13,857 [12,632])	4,110 (4,110)	60,443 (60,443)	147,479 (147,479)	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		13,304㎡		1,611席	980,254冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		8,085㎡		プールの		武道場・弓道場		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.06	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	920	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大学西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	2年次 10	210	学士(経済学)	1.11	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	2年次 10	170	学士(法学)	1.09	〃	〃	
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 1	163	〃	1.03	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	3年次 3	456	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	715	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.01	平成15年度	〃	
理学療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度	〃	
作業療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士(保健学)	1.09	平成15年度	〃	

工学部									
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度	〃	〃
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
物質化学科	4	95		190	学士(工学)	1.03	平成28年度	〃	〃
電気情報システム工学科	4	170		340	〃	1.03	〃	〃	〃
水環境・土木工学科	4	60		120	〃	1.08	〃	〃	〃
機械システム工学科	4	100		200	〃	1.07	〃	〃	〃
建築学科	4	60		120	〃	1.06	〃	〃	〃
農学部									
食料生産科学科	4	—		—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—		—	〃	—	〃	〃	〃
応用生命科学科	4	—		—	〃	—	〃	〃	〃
農学生命科学科	4	170	3年次 ₆	516	〃	1.05	平成27年度	〃	〃
繊維学部									
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃	〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65		130	学士(工学)	1.05	平成28年度	〃	〃
機械・ロボット学科	4	60		120	〃	1.06	〃	〃	〃
化学・材料学科	4	105		210	〃	1.00	〃	〃	〃
応用生物科学科	4	50		100	学士(農学)	1.08	〃	〃	〃

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	"	1.10	"	"	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		40	修士(教育学)	1.30	平成3年度	長野県長野市大字西長野6の口	
高度教職実践専攻	2	20		40	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	"	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.83	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.65	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
地球生物圏科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	"
電気電子工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
土木工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
建築学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
物質工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
情報工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
環境機能工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
繊維・感性工学専攻	2	—		—	"	—	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	"
機械・ロボット学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
化学・材料専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	"	"	"
農学研究科									
森林科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成4年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		150	修士(理学)	0.85	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		480	修士(工学)	1.03	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		320	修士(工学) 修士(農学)	1.15	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		130	修士(農学)	0.93	"	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		70	修士(医工学)	1.18	"	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科								
医科学専攻（修士課程）	2	12	24	修士(医科学)	0.87	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14	28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.24	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40	160	博士(医学)	1.01	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8	32	〃	0.81	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—	—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工医学系専攻（博士課程）	4	—	—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—	—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4	12	博士(保健学)	1.16	平成21年度	〃	
総合工学系研究科								
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15	45		0.95	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12	36	博士(学術)	0.99	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7	21	博士(理学) 博士(工学)	0.85	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8	24	博士(農学)	0.70	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生物・食料科学専攻	3	7	21		0.99	〃		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院総合理工学研究科 繊維学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	藤井 敏弘	平成28年4月	生体材料科学特論 応用生物科学演習Ⅰ 応用生物科学演習Ⅱ 応用生物科学演習Ⅲ 応用生物科学演習Ⅳ 応用生物科学特別研究Ⅰ 応用生物科学特別研究Ⅱ 応用生物科学特別研究Ⅲ 応用生物科学特別研究Ⅳ	専	助教	根岸 淳	平成29年4月	生体材料科学特論	平成29年3月藤井敏弘教授定年退職のため平成29年4月担当者変更(29)
									応用生物科学演習Ⅰ 応用生物科学演習Ⅱ 応用生物科学演習Ⅲ 応用生物科学演習Ⅳ 応用生物科学特別研究Ⅰ 応用生物科学特別研究Ⅱ 応用生物科学特別研究Ⅲ 応用生物科学特別研究Ⅳ	平成29年4月 定年退職のため教員削除(29) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない
専	教授	高寺 政行	平成28年4月	衣服工学特論 感性工学演習Ⅰ 感性工学演習Ⅱ 感性工学演習Ⅲ 感性工学演習Ⅳ 感性工学特別実験Ⅰ 感性工学特別実験Ⅱ 感性工学特別実験Ⅲ 感性工学特別実験Ⅳ					ファイバー基礎実習 繊維-ファイバー工学特別実験	平成28年4月 教員配置見直しのため教員追加(28) 平成29年4月 教員配置見直しのため教員削除(29) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない
専	教授	石澤 広明	平成28年4月	先進繊維計測学特論 先進繊維工学演習Ⅰ 先進繊維工学演習Ⅱ 先進繊維工学演習Ⅲ 先進繊維工学演習Ⅳ 先進繊維工学特別実験Ⅰ 先進繊維工学特別実験Ⅱ 先進繊維工学特別実験Ⅲ 先進繊維工学特別実験Ⅳ					ファイバー基礎実習	平成28年4月 教員配置見直しのため教員追加(28) 平成29年4月 教員配置見直しのため教員削除(29) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない
専	教授	細谷 聡	平成28年4月	感性製品設計特論 感性工学演習Ⅰ 感性工学演習Ⅱ 感性工学演習Ⅲ 感性工学演習Ⅳ 感性工学特別実験Ⅰ 感性工学特別実験Ⅱ 感性工学特別実験Ⅲ 感性工学特別実験Ⅳ						
								平成29年10月	感性製品計測・評価法特論	平成29年10月 教員配置見直しにより教員追加(29)
専	教授	倪 慶清	平成28年4月	エネルギー材料科学特論Ⅱ 破壊力学特論 機械・ロボット学演習Ⅰ 機械・ロボット学演習Ⅱ 機械・ロボット学演習Ⅲ 機械・ロボット学演習Ⅳ 機械・ロボット学特別実験Ⅰ 機械・ロボット学特別実験Ⅱ 機械・ロボット学特別実験Ⅲ 機械・ロボット学特別実験Ⅳ					エネルギー材料科学特論Ⅱ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。

専	教授	鮑 力民	平成28年4月	エネルギー材料科学特論Ⅱ			エネルギー材料科学特論Ⅱ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除 (28) 当該科目は他に担当教員が いるため支障はない。
				複合材料力学特論 機械・ロボット学演習Ⅰ 機械・ロボット学演習Ⅱ 機械・ロボット学演習Ⅲ 機械・ロボット学演習Ⅳ 機械・ロボット学特別実験Ⅰ 機械・ロボット学特別実験Ⅱ 機械・ロボット学特別実験Ⅲ 機械・ロボット学特別実験Ⅳ				
					専	教授	山口 昌樹	平成28年4月 バイオメテック科学 教員配置見直しにより教員追加 (28)
専	准教授	夏木 俊明	平成28年4月	エネルギー材料科学特論Ⅱ			エネルギー材料科学特論Ⅱ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除 (28) 当該科目は他に担当教員が いるため支障はない。
				振動解析学特論 機械・ロボット学演習Ⅰ 機械・ロボット学演習Ⅱ 機械・ロボット学演習Ⅲ 機械・ロボット学演習Ⅳ 機械・ロボット学特別実験Ⅰ 機械・ロボット学特別実験Ⅱ 機械・ロボット学特別実験Ⅲ 機械・ロボット学特別実験Ⅳ				
					専	准教授	HONYWOOD MICHAEL	平成28年4月 ファイバー基礎実習 教員配置見直しのため教員追加 平成29年4月 教員配置見直しのため教員削除 (29) 当該 科目は他に担当教員がいるため支障はない
専	准教授	飯塚 浩二郎	平成28年4月	宇宙工学特論	兼任	講師	飯塚 浩二郎	平成28年4月 宇宙工学特論 平成28年3月准教授辞任のため平成28 年4月専任から兼任へ変更 (28)
				機械・ロボット学演習Ⅰ 機械・ロボット学演習Ⅱ 機械・ロボット学演習Ⅲ 機械・ロボット学演習Ⅳ 機械・ロボット学特別実験Ⅰ 機械・ロボット学特別実験Ⅱ 機械・ロボット学特別実験Ⅲ 機械・ロボット学特別実験Ⅳ	専	助教	須藤 真珠	平成29年4月 宇宙工学特論 平成29年4月 新規採用により担当者の変更 (29)
								機械・ロボット学演習Ⅰ 機械・ロボット学演習Ⅱ 機械・ロボット学演習Ⅲ 機械・ロボット学演習Ⅳ 機械・ロボット学特別実験Ⅰ 機械・ロボット学特別実験Ⅱ 機械・ロボット学特別実験Ⅲ 機械・ロボット学特別実験Ⅳ 平成28年3月准教授辞任「機械・ロ ボット学演習Ⅰ」、「機械・ロボッ ト学演習Ⅱ」、「機械・ロボット学 演習Ⅲ」、「機械・ロボット学特別 実験Ⅰ」、「機械・ロボット学特別 実験Ⅱ」、「機械・ロボット学特別 実験Ⅲ」、「機械・ロボット学特別 実験Ⅳ」については、他に担当教員が いるため支障はない (28)
専	准教授	KIM KYOUNG HOU	平成28年4月	繊維文化財学特論				平成28年4月 教員配置見直しのため教員追加 (28) 平成29年4月 教員配置見直しのため教員削除 (29) 当該科目は他に担当教員がいるため 支障はない
				先進繊維工学演習Ⅰ 先進繊維工学演習Ⅱ 先進繊維工学演習Ⅲ 先進繊維工学演習Ⅳ 先進繊維工学特別実験Ⅰ 先進繊維工学特別実験Ⅱ 先進繊維工学特別実験Ⅲ 先進繊維工学特別実験Ⅳ				
専	准教授	吉田 宏昭	平成28年4月	製品生理学特論				
				感性工学演習Ⅰ 感性工学演習Ⅱ 感性工学演習Ⅲ 感性工学演習Ⅳ 感性工学特別実験Ⅰ 感性工学特別実験Ⅱ 感性工学特別実験Ⅲ 感性工学特別実験Ⅳ				
								平成29年10月 感性製品計測・評価法特論 教員配置見直しにより教員追加 (29)

専	准教授	渡邊 真志	平成28年4月	機能化学特論Ⅲ 化学・材料演習Ⅰ 化学・材料演習Ⅱ 化学・材料演習Ⅲ 化学・材料演習Ⅳ 化学・材料特別実験Ⅰ 化学・材料特別実験Ⅱ 化学・材料特別実験Ⅲ 化学・材料特別実験Ⅳ 化学・材料特別講義	専	教授	渡邊 真志	平成28年4月		平成28年4月 教授昇進(28)
専	准教授	後藤 康夫	平成28年4月	ファイバー・機能材料科学特論Ⅰ 化学・材料演習Ⅰ 化学・材料演習Ⅱ 化学・材料演習Ⅲ 化学・材料演習Ⅳ 化学・材料特別実験Ⅰ 化学・材料特別実験Ⅱ 化学・材料特別実験Ⅲ 化学・材料特別実験Ⅳ 化学・材料特別講義	専	教授	後藤 康夫	平成29年4月		平成29年4月 教授昇進(29)
専	講師	佐古井 智紀	平成28年4月	感性計測特論 繊維感性工学特論 感性工学演習Ⅰ 感性工学演習Ⅱ 感性工学演習Ⅲ 感性工学演習Ⅳ 感性工学特別実験Ⅰ 感性工学特別実験Ⅱ 感性工学特別実験Ⅲ 感性工学特別実験Ⅳ	専	准教授	佐古井 智紀	平成28年4月		平成28年4月 准教授昇進(28)
専	助教	堀場 洋輔	平成28年4月	感性工学演習Ⅰ 感性工学演習Ⅱ 感性工学演習Ⅲ 感性工学演習Ⅳ 感性工学特別実験Ⅰ 感性工学特別実験Ⅱ 感性工学特別実験Ⅲ 感性工学特別実験Ⅳ	専	准教授	堀場 洋輔	平成28年4月		平成28年4月 准教授昇進(28)
専	助教	KIM KYOUNGOK	平成28年4月	衣服工学特論 テキスタイル基礎実習 感性工学演習Ⅰ 感性工学演習Ⅱ 感性工学演習Ⅲ 感性工学演習Ⅳ 感性工学特別実験Ⅰ 感性工学特別実験Ⅱ 感性工学特別実験Ⅲ 感性工学特別実験Ⅳ					平成29年4月 教員配置見直しのため教員削除(29) 当該 科目は他に担当教員がいるため支障はない	
専	助教	新井 亮一	平成28年4月	蛋白質工学特論 応用生物学英語 応用生物学演習Ⅰ 応用生物学演習Ⅱ 応用生物学演習Ⅲ 応用生物学演習Ⅳ 応用生物学特別研究Ⅰ 応用生物学特別研究Ⅱ 応用生物学特別研究Ⅲ 応用生物学特別研究Ⅳ	専	准教授	新井 亮一	平成29年4月		平成29年4月 准教授昇進(29)
専	助教	野村 隆臣	平成28年4月	細胞生物学特論 応用生物学演習Ⅰ 応用生物学演習Ⅱ 応用生物学演習Ⅲ 応用生物学演習Ⅳ 応用生物学特別研究Ⅰ 応用生物学特別研究Ⅱ 応用生物学特別研究Ⅲ 応用生物学特別研究Ⅳ	専	准教授	野村 隆臣	平成29年4月		平成29年4月 准教授昇進(29)

兼任	講師	上田 良行	平成28年4月	繊維技術士特論				繊維技術士特論	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない	
					兼任	講師	塚田 益裕	平成29年4月	海外繊維・ファイバー工 学事情 I	平成29年4月 教員配置見直しのため教員追加(29)

- (注)
- ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
24	16	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
39	38	1	11	89	40	39	0	10	89	35	40	0	12	87
(40)	(38)	(0)	(11)	(89)						[△4]	[2]	[△1]	[1]	[△2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
89	0	0			87	0	2			83	0	4		
(88)	(1)	(0)								[△6]	[0]	[4]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由					
1	准教授	飯塚 浩二郎	選択	宇宙工学特論	②	退職のため就任辞退（28）					
			必修	機械・ロボット学演習Ⅰ	①						
			必修	機械・ロボット学演習Ⅱ	①						
			必修	機械・ロボット学演習Ⅲ	①						
			必修	機械・ロボット学演習Ⅳ	①						
			必修	機械・ロボット学特別実験Ⅰ	①						
			必修	機械・ロボット学特別実験Ⅱ	①						
			必修	機械・ロボット学特別実験Ⅲ	①						
合計（A）			後任補充状況の集計（B）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）				
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	科目		
		選択	1	科目	選択	科目	選択	1	科目	選択	科目
		自由		科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	9	科目	計	8	科目	計	1	科目	計

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1	教授	藤井 敏弘	選択	生体材料科学特論	①	定年退職(29)					
			必修	応用生物科学演習Ⅰ	①						
			必修	応用生物科学演習Ⅱ	①						
			必修	応用生物科学演習Ⅲ	①						
			必修	応用生物科学演習Ⅳ	①						
			必修	応用生物科学特別研究Ⅰ	①						
			必修	応用生物科学特別研究Ⅱ	①						
			必修	応用生物科学特別研究Ⅲ	①						
合計（C）			後任補充状況の集計（D）								
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）				
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	科目		
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	科目		
		自由		科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	16 科目	必修	16 科目	必修	科目	必修	科目
	選択	2 科目	選択	1 科目	選択	1 科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	18 科目	計	17 科目	計	1 科目	計	0 科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任を辞退した教員の担当予定科目については、平成28年度は当該教員が兼任として一部科目を担当し、他の授業については別の専任教員が担当しており、支障はない。なお、平成29年度からは新たに採用した専任教員が当該科目を担当している。
 定年退職教員についてはすべての科目を後任の専任教員が引き継いでおり支障を生じていない。
 学生に対しては学生便覧に開講授業の一覧を示し周知するとともに、変更事項があれば掲示板へ示す、教員から連絡する等必要な措置を講じている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<総合理工学研究科 繊維学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	特になし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教員資質向上を目指して大学の高等教育研究センターと協力し、繊維学部教務委員会において研修企画、通知及び募集を行っている。なお、繊維学部の教員と大学院繊維学専攻の教員は全員が兼務しており、FDも学部と兼ねて実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教務委員会は毎月定例で委員長及び専攻教員の委員9名及び事務職員数名の陪席で開催されており、FD研修会が効果的で有意義なものになるよう議論されている。

c 委員会の審議事項等

大学の高等教育研究センターと連携し、FDの最新事情や教員からのニーズ等の情報を得て研修会の内容を議論の上、研修会を企画し専攻で開催している。

② 実施状況

a 実施内容

- 1) FD研修会
- 2) CITI-Japanを利用した研究者倫理教育の推進

b 実施方法

1) FD研修会

信州大学全学教育基盤システム「eALPS」（授業支援Webシステム）の講習会等を信州大学e-Learningセンターと高等教育研究センターが共同で実施するFDと位置付け、教員の教育における情報通信技術（ICT）の活用能力を高めるほか、シラバス作成方法、障害学生への支援など学部及び大学院の授業改善に向けた講習会上田キャンパスの大学院担当教員も多数受講し研修を行った。

2) CITI-Japanを利用した研究者倫理教育の推進

大学の事業計画において、

○研究者倫理をはじめとするコンプライアンス研修を学部長の管轄のもとで教員会議の中で数回以上実施する。

○CITI-Japanを利用した教員・学生の研究者倫理教育を推進する。

という計画を掲げ、研究者倫理意識を向上させるような取組を進めてきた。

教員会議において不正行為の具体的事例を挙げながら、e-Learning受講を促した。総合理工学研究科修士課程1年生に対して、CITI-Japan教材を採り入れた「研究者倫理特別講義」を必修で開講し、意識付けを行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1) F D研修会について

- ・平成28年度信州大学F Dカンファレンス（8月25日～26日）：参加者8名
- ・シラバス作成及び今後のシラバス点検に関する説明会（11月24日）：参加者19名
- ・障害学生支援の現状（12月22日）：参加者30名

2) CITI-Japanを利用した研究者倫理教育の推進

上田キャンパス教員125名（科研費に応募する特任教員、研究員を含む）に対して、CITI-Japan（e-Learning）の受講を義務付け、平成28年度末には全員が受講を終えることができた。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

例年複数回F D研修会を開催し、教員の資質向上のための研修を行ってきた。それらの成果の検証は一朝一夕では不可能だが、研修会が教員同志で学生の教育のために議論、情報交換をする機会になっていることは一つの成果である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成28年度は、設置初年度のため、実施できなかったが、平成29年度は実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートはWEBで実施予定。アンケート結果については、WEB上で学生、授業担当教員の両方とも、閲覧できるようにする。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

旧4専攻を繊維学専攻としてひとまとめにし、「産学連携特別講義」「繊維技術士特論」などの研究科共通科目・専攻共通科目を設定したことにより、自分の研究分野だけでなく繊維・ファイバーに関する周辺領域の知識を学生に身につけさせることが可能となった。専攻内に「分野」「ユニット」を設けて、学部内の課程教育との接続性を明確にしたことにより7割近い進学率を達成し、6年一貫教育を推進する体制を構築できた。

今後は、更なる教育・研究水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け、引き続き取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- 1) 平成29年度以降
- 2) 平成32年5月 公表予定

b 公表方法

- 1) 大学で実施する自己点検・評価に基づき、各事業年度及び中期目標期間内における業務実績に係る「自己点検評価報告書」を作成し大学ホームページ上に公表する。
- 2) 大学全体において自己点検・評価を行い、大学ホームページ上に公表する。

③ 認証評価を受ける計画

- ・大学全体において、平成31年度に外部評価を含む自己点検評価を行うとともに、平成32年度に機関別認証評価を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年6月1日公表予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人信州大学

(2) 大学名

信州大学大学院

(3) 大学の位置

〔松本キャンパス〕（大学本部）〒390-8621
長野県松本市旭3丁目1番1号
〔長野（工学）キャンパス〕 〒380-8553
長野県長野市若里4丁目17番1号
〔上田キャンパス〕 〒386-8567
長野県上田市常田3丁目15番1号
〔伊那キャンパス〕 〒399-4598
長野県上伊那郡南箕輪村8304

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハマダ クニヒロ) 濱田 州博 (平成27年10月)		
研究科長	(オキ スミオ) 尾関 寿美男 (平成28年4月)	(イノ ヌカ) 市野 隆雄 (平成29年4月)	任期満了に伴う交代 平成29年4月1日就任 (29)
専攻長	(フジタ トモキ) 藤田 智之 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
総合理工学研究科 農学専攻(修士課程) 修士(農学)	農学関係	2 年	65 人	130 人	基礎となる学部等 農学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成28年度	平成29年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	65 (若干人) [若干人]	65 (若干人) [若干人]					0.93倍 0.89倍	
志願者数	60 (3) [3]	3 (0) [3]	74 (2) [6]	- (-) [-]				
受験者数	59 (3) [3]	3 (0) [3]	71 (2) [6]	- (-) [-]				
合格者数	58 (3) [3]	3 (0) [3]	71 (2) [6]	- (-) [-]				
B 入学者数	58 (3) [3]	3 (0) [3]	61 (1) [5]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	0.93 0.89	0.93						

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。

- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	58 [3] (-)	[] ()	61 [5] (-)	3 [3] (-)			
2年次	/		56 [2] (-)	[] ()			
計			58 [3] (-)	120 [10] (-)			

- (注)
- ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	61 58 人	2 0 人	平成28年度	2 0 人	1 0 人	就職(1), 経済的理由(1)	3.27 0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	61 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
合計	122 58 人	2 0 人					1.63 0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合理工学研究科 農学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	Introduction to Modern Astrophysics	1・2前		2								兼1	
	MOT特論	1・2通		2								兼1	
	産学連携特別講義	1・2通		2								兼1	
	国際連携特別講義I	1・2通		1								兼1	
	国際連携特別講義II	1・2通		1								兼1	
	科学英語	1・2後		2								兼1	
	大学院と社会	1・2前		2								兼1	
	臨床医学概論	1・2後		2								兼1 兼2	教員配置見直しのため(28)
	研究者倫理特別講義 (CITI-Japan&講義)	1・2前	2									兼1 兼2	教員配置見直しのため(28)
	科学技術政策特論	1・2後		2								兼1 兼2	教員配置見直しのため(28)
学外特別講義(長期)	1・2通		2								兼1		
学外特別実習(長期)	1・2通		2								兼1		
専攻共通科目	食と緑の科学特論	1通	2			4	15			5			
	国際農学特論I	1・2通		2									
	国際農学特論II	1・2通		2									
	国際農学特論III	1・2通		2									
	国際農学特論IV	1・2通		2									
	国際農学特別演習I	1・2通		2									
	国際農学特別演習II	1・2通		2									
	国際農学特別実習I	1・2通		2									
	国際農学特別実習II	1・2通		2									
	海外農学特別実習	1・2通		2		1			1				カリキュラム見直しのため科目追加(29)
先端生命科学分野	生命機能工学 ユニット	基礎生命機能科学特論	1前	2		1							
		生命機能科学特論	1後	2		1				2			
		生命機能工学特別演習I	1通	2		1				2			教員配置見直しのため(28)
		生命機能工学特別演習II	2通	2		2				2			教員配置見直しのため(28)
		生命機能工学特別実験実習	1通	2		2				2			教員配置見直しのため(28)
		細胞システム科学特論	1前	2		1	1					兼1	
	細胞システム科 ユニット	動物細胞工学特論	1後	2		1	1					兼1	
		細胞システム科学特別演習I	1通	2		1	2						
		細胞システム科学特別演習II	2通	2		1	2						
		細胞システム科学特別実験実習	1通	2		1	2					兼1	
		菌類共生科学特論	1前	2		1	1						
	生物共生科学 ユニット	農環境特論	1後	2		1	2						
		生物共生科学特別演習I	1通	2		2	3						
		生物共生科学特別演習II	2通	2		2	3						
		生物共生科学特別実験実習	1通	2		2	3						
		先端生命科学特論	1前	2		4	5	5		2		兼1	教員配置見直しのため(28)
	分野共通	先端生命科学特別演習	1後	2		4	5	5		2			教員配置見直しのため(28)
		特別インターンシップ(短期)	1・2通	2		5	4	4					教員配置見直しのため(29)
		特別研究	2通	10		4	5	5		2			教員配置見直しのため(29)
		特別研究	2通	10		5	4	4					教員配置見直しのため(29)
Advanced Study for Life Science		1・2通	2		5	4	5		2			教員配置見直しのため(28)	
食品生物機能科 ユニット	応用微生物学特論	1前	2		1	1							
	分子生物・遺伝子工学特論	1後	2		1	1							
	食品生物機能科学特別演習I	1通	2		2	2							
	食品生物機能科学特別演習II	2通	2		2	2							
	食品生物機能科学特別実験実習	1通	2		2	2							
食料機能解析学 ユニット	食料分析化学特論	1前	2		2	2							
	食料機能解析学特論	1後	2		2	2							
	食料機能解析学特別演習I	1通	2		2	2							
	食料機能解析学特別演習II	2通	2		2	2							
	食料機能解析学特別実験実習	1通	2		2	2							

食品生命科学分野	食品分子機能学 ユニット	食品分子機能学特論	1前		2		1	2		1			
		食品機能開発学特論	1後		2		1	2		1			
		食品分子機能学特別演習 I	1通		2		1	2		1			
		食品分子機能学特別演習 II	2通		2		2	2		1			
		食品分子機能学特別実験実習	1通		2		1	2		1			
		機能性食品創製学 ユニット	機能性食品創製学特論 I	1・2通		2							3 兼2 教員配置見直しのため (29)
	機能性食品創製学特論 II	1・2通		2							3 兼2 教員配置見直しのため (29)		
分野共通	食料資源利用学特論	1後		2		5	6		1				
	食品生命科学特別演習	1後		2		5	6		1				
	特別インターンシップ (短期)	1・2通		2		2	2				兼3 教員配置見直しのため (29)		
	特別研究	2通		10		5	6		1				
	Advanced study for food science	1・2通		2		5	6		1				
	生物資源科学分野	動物資源生産学 ユニット	動物資源生産学特論 I	1前		2		2		1			
動物資源生産学特論 II			1後		2		1	1		1			
動物資源生産学特別演習 I			1通		2		3	1		2			
動物資源生産学特別演習 II			2通		2		3	1		2			
動物資源生産学特別実験実習			1通		2		3	1		2			
植物資源生産学特論 I			1前		2		2	1		2			
植物資源生産学特論 II		1後		2		2	1		2				
植物資源生産学特別演習 I		1通		2		2	1		2				
植物資源生産学特別演習 II		2通		2		2	1		2				
植物資源生産学特別実験実習		1通		2		2	1		2				
生産環境システム学 ユニット		生産環境システム学特論 I	1前		2		1		1	1		兼3 教員配置見直しのため (29)	
		生産環境システム学特論 II	1後		2		1		1	1		兼3 教員配置見直しのため (29)	
	生産環境システム学特別演習 I	1通		2		1		1	1		兼3 教員配置見直しのため (29)		
	生産環境システム学特別演習 II	2通		2		1		1	1		兼3 教員配置見直しのため (29)		
	生産環境システム学特別実験実習	1通		2		1		1	1		兼3 教員配置見直しのため (29)		
分野共通	生物・食資源生産学特論	1前		2		6	3		5			兼3 教員配置見直しのため (29)	
	生物資源科学特別演習	1後		2		7	3		1			兼3 教員配置見直しのため (29)	
	特別インターンシップ (短期)	1・2通		2		1	4					兼3 教員配置見直しのため (29)	
	特別研究	2通		10		7	3		1			兼3 教員配置見直しのため (29)	
	Advanced Study for Biological Resources	1・2通		2		7	3		1			兼3 教員配置見直しのため (29)	
	環境共生学分野	森林資源利用学 ユニット	森林資源利用学特論	1前		2		2		2			
木材理学特論			1前		2		2		2				
森林資源利用学特別演習 I			1通		2		3	2		2			
森林資源利用学特別演習 II			2通		2		3	2		2			
森林資源利用学特別実験実習			1通		2		3	2		2			
地域環境共生学 ユニット		地域環境計画学特論	1前		2		1	1		2			
		緑地環境評価学特論	1後		2		2	1		1			
		地域環境共生学特別演習 I	1通		2		3	2		2			
		地域環境共生学特別演習 II	2通		2		3	2		2			
		地域環境共生学特別実験実習	1通		2		3	2		2			
山岳環境保全学 ユニット	山地保全学特論	1前		2		1			2				
	森林生態学特論	1後		2		1	2		1				
	山岳環境保全学特別演習 I	1通		2		2	2		3				
	山岳環境保全学特別演習 II	2通		2		2	2		3				
	山岳環境保全学特別実験実習	1通		2		2	2		3				
分野共通	環境共生学特論	1前		2		2	1		2				
	環境共生学特別演習	1後		2		8	6		1				
	特別インターンシップ (短期)	1・2通		2		1	4				兼3 教員配置見直しのため (29)		
	特別研究	2通		10		8	6		1				
	Advanced Study for Environmental Science	1・2通		2		8	6		1				
	地域共生マネージメント プログラム	地域連携・経営学特論 I	1前		2		2	1					
地域連携・経営学特論 II		1後		2		2	1						
動植物環境共生学特論		1前		2		7	3		5				
食品バイオサイエンス特論		1後		2		5	6		1				
中山間地域管理学		1前		2		2	1		2				
生命産業科学特論		1前		2		4	5		2		兼1 教員配置見直しのため (28)		
地域課題探究演習 I		1通		2		24	20		13		兼3 教員配置見直しのため (29)		
						25			14		兼3 教員配置見直しのため (28)		

シ	地域課題探究演習Ⅱ	1通	2	24 25	20	13 14	教員配置見直しのため(29) 教員配置見直しのため(28)	
	特別研究	1通	10	24 25	20	13 14	教員配置見直しのため(29) 教員配置見直しのため(28)	
グローバル人材養成プログラム	サステイナブルエネルギーコース	エネルギー材料科学特論Ⅰ	1・2後	2			兼1	
		エネルギー材料科学特論Ⅱ	1・2前	2			兼2 兼5 教員配置見直しのため(28)	
		エネルギーデバイス総論	1・2前	2			兼6	
		エネルギーシステム特論Ⅰ	1・2後	2			兼6	
		エネルギーシステム特論Ⅱ	1・2前	2			兼6	
	サステイナブルウォーターコース	水環境科学特論	1・2前通	2				兼7 兼8 時間割調整, 教員配置見直しのため(28)
		水創成特論	1・2後	2				兼7
		水利用システム特論	1・2後	2				兼8
	サステイナブルフードコース	食料機能学総論	1・2通	2	1 2	1 2	1	兼9 兼10 教員配置見直しのため(28)
		食資源利用学総論	1・2通	2	1 2	2 3	1	兼9 教員配置見直しのため(28)
		フードビジネス総論	1・2通	2	1 2	3		兼9 教員配置見直しのため(28)
		食料生命科学総論	1・2通	2	1 2	4 5	1	兼9 兼10 教員配置見直しのため(28)
		食農生産システム工学特論	1・2通	2				兼9

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	123	0	125	2	124	0	126	
				[0]	[+1]	[0]	[+1]	
					123		125	
					[0]		[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{125} = \boxed{0.00} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	539,062㎡	0㎡	0㎡	539,062㎡			
	運動場用地	208,855㎡	0㎡	0㎡	208,855㎡			
	小 計	747,917㎡	0㎡	0㎡	747,917㎡			
	そ の 他	5,693,687㎡	0㎡	0㎡	5,693,687㎡			
	合 計	6,441,604㎡	0㎡	0㎡	6,441,604㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		434,207㎡ (434,207㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	434,207㎡ (434,207㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		13室	7室	8室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		総合理工学研究科 農学専攻			65 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部等単位での特定不能なため、大学全体の数
	総合理工学研究科 農学専攻	1,228,958 [360,852] (1,228,958 [360,852])	26,443 [9,045] (26,443 [9,045])	13,857 [12,632] (13,857 [12,632])	4,110 (4,110)	60,443 (60,443)	147,479 (147,479)	
	計	1,228,958 [360,852] (1,228,958 [360,852])	26,443 [9,045] (26,443 [9,045])	13,857 [12,632] (13,857 [12,632])	4,110 (4,110)	60,443 (60,443)	147,479 (147,479)	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		13,304㎡		1,611席	980,254冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
		8,085㎡		プール	武道場・弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.06	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	920	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大学西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	2年次 10	210	学士(経済学)	1.11	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	2年次 10	170	学士(法学)	1.09	〃	〃	
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 1	163	〃	1.03	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	3年次 3	456	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	715	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.01	平成15年度	〃	
理学療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度	〃	
作業療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士(保健学)	1.09	平成15年度	〃	

工学部									
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度	〃	〃
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
物質化学科	4	95		190	学士(工学)	1.03	平成28年度	〃	〃
電気情報システム工学科	4	170		340	〃	1.03	〃	〃	〃
水環境・土木工学科	4	60		120	〃	1.08	〃	〃	〃
機械システム工学科	4	100		200	〃	1.07	〃	〃	〃
建築学科	4	60		120	〃	1.06	〃	〃	〃
農学部									
食料生産科学科	4	—		—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—		—	〃	—	〃	〃	〃
応用生命科学科	4	—		—	〃	—	〃	〃	〃
農学生命科学科	4	170	3年次 ₆	516	〃	1.05	平成27年度	〃	〃
繊維学部									
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃	〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65		130	学士(工学)	1.05	平成28年度	〃	〃
機械・ロボット学科	4	60		120	〃	1.06	〃	〃	〃
化学・材料学科	4	105		210	〃	1.00	〃	〃	〃
応用生物科学科	4	50		100	学士(農学)	1.08	〃	〃	〃

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	〃	1.10	〃	〃	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		40	修士(教育学)	1.30	平成3年度	長野県長野市大字西長野6の口	
高度教職実践専攻	2	20		40	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	〃	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.83	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.65	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
地球生物圏科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃
電気電子工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
土木工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
建築学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
情報工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
環境機能工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
繊維・感性工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	〃
機械・ロボット学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
化学・材料専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	〃	〃	〃
農学研究科									
森林科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成4年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		150	修士(理学)	0.85	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		480	修士(工学)	1.03	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		320	修士(工学) 修士(農学)	1.15	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		130	修士(農学)	0.93	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		70	修士(医工学)	1.18	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科								
医科学専攻（修士課程）	2	12	24	修士(医科学)	0.87	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14	28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.24	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40	160	博士(医学)	1.01	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8	32	〃	0.81	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—	—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—	—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—	—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4	12	博士(保健学)	1.16	平成21年度	〃	
総合工学系研究科								
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15	45		0.95	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12	36	博士(学術)	0.99	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7	21	博士(理学) 博士(工学)	0.85	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8	24	博士(農学)	0.70	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生物・食料科学専攻	3	7	21		0.99	〃		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合理工学研究科 農学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	小野 珠乙	平成28年4月	動物細胞工学特論 細胞システム科学特別演習Ⅰ 細胞システム科学特別演習Ⅱ 細胞システム科学特別実験実習 先端生命科学特論 先端生命科学特別演習 Advanced Study for Life Science 生命産業科学特論 地域課題探究演習Ⅰ 地域課題探究演習Ⅱ 特別研究						
								平成29年4月	海外農学特別実習	平成29年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
専任	教授	中村 宗一郎	平成28年4月	食料機能学総論 食資源利用学総論 フードビジネス総論 食料生命科学総論					食料機能学総論 食資源利用学総論 フードビジネス総論 食料生命科学総論	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28)当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
専任	教授	南 峰夫	平成28年4月	食料機能学総論					食料機能学総論	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28)当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
専	教授	佐々木 隆	平成28年4月	生産環境システム学特論Ⅰ 生産環境システム学特論Ⅱ 生産環境システム学特別演習Ⅰ 生産環境システム学特別演習Ⅱ 生産環境システム学特別実験実習 生物・食資源生産学特論 生物資源科学特別演習 Advanced Study for Biological Resources 地域課題探究演習Ⅰ 地域課題探究演習Ⅱ 特別研究						平成29年3月定年退職(29) 「生産環境システム学特論Ⅰ」、「生産環境システム学特論Ⅱ」、「生産環境システム学特別演習Ⅰ」、「生産環境システム学特別演習Ⅱ」、「生産環境システム学特別実験実習」、「生物・食資源生産学特論」、「生物資源科学特別演習」、「Advanced Study for Biological Resources」、「地域課題探究演習Ⅰ」、「地域課題探究演習Ⅱ」、「特別研究」については他に担当教員がいるため支障はない。
専	教授	水品 善之	平成28年4月	基礎生命機能科学特論 生命機能工学特別演習Ⅰ 生命機能工学特別演習Ⅱ 生命機能工学特別実験実習 先端生命科学特論 先端生命科学特別演習 Advanced Study for Life Science 生命産業科学特論 特別研究	専任	教授	小嶋 政信	平成28年4月	基礎生命機能科学特論	平成27年9月水品善之教授就任辞退のため平成28年4月 担当者の変更(28)
					専任	教授	大神田 淳子	平成29年4月	基礎生命機能科学特論	平成29年4月 教員配置見直しのため担当者の変更(29)
										平成27年9月教授就任辞退(28) 「生命機能工学特別演習Ⅰ」、「生命機能工学特別演習Ⅱ」、「生命機能工学特別実験実習」、「先端生命科学特論」、「先端生命科学特別演習」、「Advanced Study for Life Science」、「生命産業科学特論」、「特別研究」については他に担当教員がいるため支障はない。
					専任	教授	大神田 淳子	平成29年4月	Advanced Study for Life Science 特別研究	平成29年4月から教員配置見直しのため教員追加(29)
専	准教授	瀧岡 康範	平成28年4月	食と緑の科学特論 食料分析化学特論 食料機能解析学特論 食料機能解析学特別演習Ⅰ 食料機能解析学特別演習Ⅱ 食料機能解析学特別実験実習 食料資源利用学特論 食品生命科学特別演習 Advanced study for food science 食品/バイオサイエンス特論 地域課題探究演習Ⅰ 地域課題探究演習Ⅱ 特別研究						
					専任	教授	大窪 久美子	平成29年4月	特別インターンシップ(短期)	平成29年4月 教員配置見直しのため担当者の変更(29)
専	講師	瀧野 充	平成28年4月	生産環境システム学特論Ⅰ 生産環境システム学特論Ⅱ						
								平成29年4月	海外農学特別実習	平成29年4月から教育課程の充実を図るため科目を追加(29)

専	助教	江田 慧子	平成28年4月	地域課題探究演習Ⅰ 地域課題探究演習Ⅱ 特別研究					平成28年3月助教就任辞退(28)「地域課題探究演習Ⅰ」、「地域課題探究演習Ⅱ」、「特別研究」については他に担当教員がいるため支障はない。	
兼担	教授	鮑 力民	平成28年4月	エネルギー材料科学特論Ⅱ				エネルギー材料科学特論Ⅱ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28)当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。	
兼担	教授	倪 慶清	平成28年4月	エネルギー材料科学特論Ⅱ				エネルギー材料科学特論Ⅱ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28)当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。	
兼担	准教授	夏木 俊明	平成28年4月	エネルギー材料科学特論Ⅱ				エネルギー材料科学特論Ⅱ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28)当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。	
					兼担	教授	岡本 拓也	平成28年4月	研究者倫理特別講義(CITI-Japan&講義) 科学技術政策特論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	教授	杉山 暢宏	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	教授	石田 文宏	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	教授	金井 誠	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	教授	中沢 洋三	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	教授	池上 俊彦	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	教授	齊藤 保典	平成28年4月	水環境科学特論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	准教授	青木 薫	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	准教授	吉村 康夫	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	講師	伊東 清志	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
					兼担	講師	瀬戸 達一郎	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
兼担	助教	米倉 真一	平成28年4月	先進応用生命科学特論	兼担	准教授	米倉 真一	平成28年4月		平成28年4月准教授昇進(28)
									食料機能学総論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
兼任	講師	高松 清治	平成28年4月	機能性食品創製学特論Ⅰ 機能性食品創製学特論Ⅱ						平成28年3月特任教授就任辞退(28)「機能性食品創製学特論Ⅰ」、「機能性食品創製学特論Ⅱ」は他に担当教員がいるため支障はない。
					兼任	講師	橋本 信一	平成29年4月	機能性食品創製学特論Ⅰ 機能性食品創製学特論Ⅱ	平成29年4月 教員配置見直しのため教員追加(29)
兼任	講師	加藤 真晴	平成28年4月	機能性食品創製学特論Ⅰ 機能性食品創製学特論Ⅱ	兼任	講師	田畑 和彦	平成29年4月	機能性食品創製学特論Ⅰ 機能性食品創製学特論Ⅱ	平成29年3月加藤真晴講師辞任のため平成29年4月担当者の変更(29)
兼任	講師	前淵 元宏	平成28年4月	機能性食品創製学特論Ⅰ 機能性食品創製学特論Ⅱ	兼任	講師	林 幹朗	平成29年4月	機能性食品創製学特論Ⅰ 機能性食品創製学特論Ⅱ	平成29年3月前淵元宏講師辞任のため平成29年4月担当者の変更(29)

(注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AO教員審査)を受けてください。**AO教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
10 名	7 名	0 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により

算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
25	20	1	15	61	23	20	1	16	60	23	20	1	16	60
(23)	(19)	(1)	(19)	(62)						[△2]	[0]	[0]	[+1]	[△1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
50	0	11			47	0	13			47	0	13		
(50)	(0)	(12)								[△3]	[0]	[+2]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	水品 善之	選択	基礎生命機能科学特論	①	退職のため就任辞退（28）	
			選択	生命機能工学特別演習Ⅰ	①		
			選択	生命機能工学特別演習Ⅱ	①		
			選択	生命機能工学特別実験実習	①		
			選択	先端生命科学特論	①		
			選択	先端生命科学特別演習	①		
			選択	Advanced Study for Life Science	①		
			選択	生命産業科学特論	①		
			選択	特別研究	①		
2	助教	江田 慧子	選択	地域課題探究演習Ⅰ	①	退職のため就任辞退（28）	
			選択	地域課題探究演習Ⅱ	①		
			選択	特別研究	①		
合計（A）				後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
2	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	12 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	12 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	佐々木 隆	選択	生産環境システム学特論Ⅰ	①	定年退職のため（29）	
			選択	生産環境システム学特論Ⅱ	①		
			選択	生産環境システム学特別演習Ⅰ	①		
			選択	生産環境システム学特別演習Ⅱ	①		
			選択	生産環境システム学特別実験実習	①		
			選択	生物・食資源生産学特論	①		
			選択	生物資源科学特別演習	①		
			選択	Advanced Study for Biological Resources	①		
			選択	地域課題探究演習Ⅰ	①		
			選択	地域課題探究演習Ⅱ	①		
			選択	特別研究	①		
合計（C）				後任補充状況の集計（D）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	11 科目	選択	11 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	11 科目	計	11 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、

「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（Ａ）＋（Ｃ）			後任補充状況の集計（Ｂ）＋（Ｄ）										
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）			
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	20	科目	選択	20	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	20	科目	計	20	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当科目については、他の専任教員が担当することで、問題はない。また、学生へは「学生の手引」及び「履修案内」で周知している。

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<総合理工学研究科 農学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教務委員会を設置

信州大学農学部教務委員会内規

（設置）

第1条 信州大学農学部（大学院農学研究科，大学院総合理工学研究科農学専攻全分野及び生命医工学専攻生命工学分野を含む。以下「本学部等」という。）に信州大学農学部教務委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（職務）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議するとともに、その実施に関し必要な事項を処理する。

- 一 本学部等の教育課程（共通教育及び専門教育を含む。）の編成に関すること。
- 二 学生の身分に関すること。
- 三 教職課程の実施に関すること。
- 四 授業方法向上のための方策（授業評価等）に関すること。
- 五 その他教務に関すること。

（組織）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 委員長
- 二 副委員長
- 三 農学生命科学科各コース，大学院総合理工学研究科農学専攻全分野及び生命医工学専攻生命工学分野から選出された教員各1人
- 四 教務担当の事務部職員
- 五 その他委員会が必要と認めた者

（任期）

第4条 前条第1号から第3号に規定する委員の任期は1年とし、再任を妨げない。その始期は4月1日からとする。

2 前条第1号から第3号に規定する委員に欠員を生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 前条第5号に規定する委員の任期は、その都度委員長が定める。

（委員長）

第5条 委員長は、第3条第3号に規定する委員のうちから農学部長が指名する者をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

（副委員長）

第6条 副委員長は、第3条第3号に規定する委員のうちから選出する。

2 副委員長は、委員長の職務を補佐するとともに、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

（委員以外の者の出席）

第7条 委員会が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。
(庶務)

第8条 委員会の庶務は、農学部事務局において処理する。

(雑則)

第9条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則 (平成23年12月19日教授会決定)

1 この内規は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成24年4月1日から平成24年4月30日までの期間における第3条に掲げる組織は、信州大学農学部学務委員会内規(平成12年6月20日施行)に掲げる組織が引き続き行うものとする。

3 この内規により最初に選出される委員長は、信州大学農学部学務委員会内規(平成12年6月20日施行)の副委員長とする。

4 信州大学農学部学務委員会内規(平成12年6月20日施行)は、廃止する。

5 信州大学農学部FD委員会内規(平成15年7月29日施行)は、廃止する。

附 則 (平成27年2月16日専任教授会決定)

1 この内規は、平成27年4月1日から施行する。

2 この内規施行の際、現に第3条第1号及び第2号に規定する委員である者の任期は、平成27年3月31日までとし、同条第3号に規定する委員である者の任期は、平成28年3月31日までとする。

附 則 (平成27年8月10日教授会決定)

この内規は、平成28年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

月1回開催、構成員：農学部各コース、農学専攻各分野選出教員

c 委員会の審議事項等

農学部及び総合理工学研究科農学専攻の教育課程の編成、学生の身分に関する事、教職課程の実施に関する事、授業方法向上のための方策(授業評価等)に関する事等。

② 実施状況

a 実施内容

- ① 学生の自主学習を促すためのIT活用方法について(FD研修)
- ② 授業用資料の著作権について(FD研修)
- ③ ポートフォリオの活用方法について(FD研修)
- ④ GPAの活用方法について(FD研修)
- ⑤ 教員への公開授業
- ⑥ CITIJapanの教員受講

b 実施方法

- ①～④：6月～12月の月曜日に複数回開催
- ⑤：前後期授業時間内に実施
- ⑥：e-learning受講

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ① 参加者17名
- ② 参加者25名
- ③ 参加者13名
- ④ 参加者16名
- ⑤ 参加者11名
- ⑥ 全教員受講

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ①～⑤：内容に基づき授業改善へ反映。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期：7月、後期：1月の年2回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生へは掲示にて結果等を公開している。
- ・各教員にアンケート集計結果を配付している。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、設置計画どおりに進め、当初設定したとおりに実現している。

旧農学研究科の食料生産科学, 森林科学, 応用生命科学, 機能性食料開発学の4専攻を農学専攻としてひとまとめにし、「科学技術政策特論」, 「食と緑の科学特論」などの研究科共通科目・専攻共通科目を設定したことにより, 自分の研究分野だけでなく理工学全体に関する周辺領域の知識を学生に身につけさせることが可能となった。

専攻内に「分野」「ユニット」を設けて, 学部内の課程教育との接続性を明確にしたことにより, 6年一貫教育を推進する体制を構築できた。

今後は, 更なる教育・研究水準の向上を図り, 設置の趣旨・目的の実現に向け, 引き続き取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- 1) 平成29年度以降
- 2) 平成32年5月 公表予定

b 公表方法

- 1) 大学で実施する自己点検・評価に基づき, 各事業年度及び中期目標期間内における業務実績に係る「自己点検評価報告書」を作成し大学ホームページ上に公表する。
- 2) 大学全体において自己点検・評価を行い, 大学ホームページ上に公表する。

③ 認証評価を受ける計画

- ・大学全体において, 平成31年度に外部評価を含む自己点検評価を行うとともに, 平成32年度に機関別認証評価を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また, 「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については, できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお, 「② 自己点検・評価報告書」については, 当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年6月1日公表予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人信州大学

(2) 大学名

信州大学大学院

(3) 大学の位置

[松本キャンパス] (大学本部) 〒390-8621
長野県松本市旭3丁目1番1号
[長野(工学)キャンパス] 〒380-8553
長野県長野市若里4丁目17番1号
[上田キャンパス] 〒386-8567
長野県上田市常田3丁目15番1号
[伊那キャンパス] 〒399-4598
長野県上伊那郡南箕輪村8304

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハマダ クニヒロ) 濱田 州博 (平成27年10月1日)		
研究科長	(オゼキ スミオ) 尾関 寿美男 (平成28年4月1日)	(イチノ タカオ) 市野 隆雄 (平成29年4月1日)	任期満了に伴う交代 平成29年4月1日就任 (29)
専攻長	(ハシモト ミノル) 橋本 稔 (平成28年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
総合理工学研究科 生命医工学専攻(修士課程) 修士(医工学)	工学関係	2年	35人	70人	基礎となる学部等 理学部, 医学部, 工学部, 農学, 織 維学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員超過率		備考
	平成28年度	平成29年度			
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
A 入学定員	35 (-) [-]	35 (-) [-]			1.18倍 1.08倍
志願者数	40 (1) [-]	1 (-) [1]	56 (-) [4]	() []	
受験者数	39 (1) [-]	1 (-) [1]	56 (-) [4]	() []	
合格者数	39 (1) [-]	0 (-) [0]	53 (-) [2]	() []	
B 入学者数	38 (1) [-]	0 (-) [0]	45 (-) [2]	() []	
入学定員超過率 B/A	1.08		1.28		

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	38 [-] (-)	- [-] (-)	46 [2] (1)	[] [] ()			
2年次			37 [-] (-)	[] [] ()			
計			38 [-] (-)		83 [2] (1)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	38 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	45 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	83 38 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜総合理工学研究科 生命医工学専攻＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	Introduction to Modern Astrophysics	1・2前		2							兼 1	
	MOT特論	1・2通		2							兼 1	
	産学連携特別講義	1・2通		2							兼 1	
	国際連携特別講義 I	1・2通		1							兼 1	
	国際連携特別講義 II	1・2通		1							兼 1	
	科学英語	1・2後		2							兼 1	
	大学院と社会	1・2前		2							兼 1	
	臨床医学概論	1・2後		2		1					兼 13 兼 4	教員配置見直しのため(28)
	研究者倫理特別講義 (CITI-Japan&講義)	1・2前	2								兼 2 兼 4	教員配置見直しのため(28)
	科学技術政策特論	1・2後		2							兼 2 兼 4	教員配置見直しのため(28)
	学外特別講義 (長期)	1・2通		2							兼 1	
	学外特別実習 (長期)	1・2通		2							兼 1	
専攻科目 共通	科基礎 医療倫理学・社会医工学	1・2前	2			1					兼 3	
	科応用 病院インターンシップ研修	1・2通		1		1						
	行政・企業インターンシップ研修	1・2通		4~6		1						
生命工学分野 専門科目	科基礎 力学基礎 I	1前		2		1	1					教員配置見直しのため(29)
	力学基礎 II	1前		2		1	1					
	生命工学特論	1前	2			3	4 3	2 3	4			教員の昇進のため(29) 教員配置見直しのため(28)
	先進応用生命科学特論	1・2前		2		1	1		1			教員の昇進のため(28)
	生命情報科学特論	1・2前		2		1			2			
	先進生命化学特論	1・2前		2		1	1		1			教員の昇進のため(29)
	分子生物学特論	1・2前		2			1					
	生命工学演習 I	1前	1			3	5 3	2	4			教員配置見直しのため(29) 教員の昇進のため(29) 教員配置見直しのため(28)
	生命工学演習 II	1後	1			3	5 3	2	4			教員配置見直しのため(29) 教員の昇進のため(29) 教員配置見直しのため(28)
	生命工学演習 III	2前	1			3	5 3	2	4			教員配置見直しのため(29) 教員の昇進のため(29) 教員配置見直しのため(28)
	生命工学演習 IV	2後	1			3	5 3	2	4			教員配置見直しのため(29) 教員の昇進のため(29) 教員配置見直しのため(28)
	生命工学特別実験 I	1前	2			3	5 3	2	4			教員配置見直しのため(29) 教員の昇進のため(29) 教員配置見直しのため(28)
	生命工学特別実験 II	1後	2			3	5 3	2	4			教員配置見直しのため(29) 教員の昇進のため(29) 教員配置見直しのため(28)
	生命工学特別実験 III	2前	2			3	5 3	2	4			教員配置見直しのため(29) 教員の昇進のため(29) 教員配置見直しのため(28)
	生命工学特別実験 IV	2後	2			3	5 3	2	4			教員配置見直しのため(29) 教員の昇進のため(29) 教員配置見直しのため(28)
科基礎	生物学基礎 I	1前		2			1	1				教員の昇進のため(28)
	生物学基礎 II	1後		2			1	1				教員の昇進のため(28)

生体医工学分野	専門科目	生体医工学特論	1前	2		6	5 4 3	4	3 2		教員配置見直しのため (29) 教員の昇進のため (29) 教員の昇進、教員配置見直しのため (28)	
		生体ロボット学特論	1・2前		2		1					
		医療ロボット学特論	1・2後		2		1					
		生体流体力学特論	1・2後		2		1					
		生体マイクロデバイス特論	1・2前		2			1				
		生体情報システム学特論	1・2後		2			1				
		基礎連続体統計学特論	1・2後		2			1				
		動物行動学特論	1・2前		2			1		1		教員の昇進のため (29)
		生体材料学特論	1・2後		2					1		
		バイオメカニクス特論	1・2前		2		1					
		生体応答学特論	1・2後		2		1	1	1			教員の昇進のため (28)
		生体計測学特論	1・2後		2		1					
		生体医工学演習 I	1前	1			6	5 4 3	4	1 2		教員の昇進のため (29) 教員の昇進のため (28)
		生体医工学演習 II	1後	1			6	5 4 3	4	1 2		教員の昇進のため (29) 教員の昇進のため (28)
		生体医工学演習 III	2前	1			6	5 4 3	4	1 2		教員の昇進のため (29) 教員の昇進のため (28)
		生体医工学演習 IV	2後	1			6	5 4 3	4	1 2		教員の昇進のため (29) 教員の昇進のため (28)
		生体医工学特別実験 I	1前	2			6	5 4 3	4	1 2		教員の昇進のため (29) 教員の昇進のため (28)
		生体医工学特別実験 II	1後	2			6	5 4 3	4	1 2		教員の昇進のため (29) 教員の昇進のため (28)
		生体医工学特別実験 III	2前	2			6	5 4 3	4	1 2		教員の昇進のため (29) 教員の昇進のため (28)
		生体医工学特別実験 IV	2後	2			6	5 4 3	4	1 2		教員の昇進のため (29) 教員の昇進のため (28)
サステイナブルソサイエティ ロケティグロ ーバル人材養成 プ	サステイナブル エネルギー コース サステイナブル ウォーター コース サステイナブル フード コース	エネルギー材料科学特論 I	1・2後		2						兼 1 2	
		エネルギー材料科学特論 II	1・2前		2						兼 5	教員配置見直しのため (28)
		エネルギーデバイス総論	1・2前		2						兼 6	
		エネルギーシステム特論 I	1・2後		2		1				兼 5	
		エネルギーシステム特論 II	1・2前		2						兼 2	
		水環境科学特論	1・2通		2						6 兼 5	時間割調整、教員配置見直しのため (28)
		水創成特論	1・2後		2						兼 7	
		水利用システム特論	1・2後		2						兼 8	
		食料機能学総論	1・2通		2		1	2 4			4 兼 6	教員配置見直しのため (28)
		食資源利用学総論	1・2通		2		2	1			4 兼 5	教員配置見直しのため (28)
		フードビジネス総論	1・2通		2		1	1			4 兼 5	教員配置見直しのため (28)
		食料生命科学総論	1・2通		2		1	1			5 兼 6	教員配置見直しのため (28)
食農生産システム工学特論	1・2通		2						兼 9			
繊維・ ファイバー 工	基幹科目	繊維系合同研修	1通		2						兼 3	
		繊維系資格概論	1・2通		2						兼 3	
		アカデミックインターンシップ (国内)	1・2通		2						兼 4	
		アカデミックインターンシップ (海外)	1・2通		2						兼 3	
		海外繊維・ファイバー工学事情 I	1・2通		2						4 兼 3	教員配置見直しのため (29)
		海外繊維・ファイバー工学事情 II	1・2通		2						兼 3	
		繊維基礎科学	1・2通		2					兼 3		

地域共生マネジメントプログラム	地域連携・経営学特論Ⅰ	1前	2						兼1
	地域連携・経営学特論Ⅱ	1後	2						兼1
	動植物環境共生学特論	1前	2						兼15
	食品バイオサイエンス特論	1後	2						兼12
	中山間地域管理学	1前	2						兼5
	生命産業科学特論	1前	2						12 兼13 教員配置見直しのため(28)
	地域課題探究演習Ⅰ	1通	2						57 58 教員配置見直しのため(29) 兼59 教員配置見直しのため(28)
	地域課題探究演習Ⅱ	1通	2						57 58 教員配置見直しのため(29) 兼59 教員配置見直しのため(28)
	特別研究	1通	10						57 58 教員配置見直しのため(29) 兼59 教員配置見直しのため(28)
	ファイバーリーダーの養成プログラム	必修科目	英語技法特論Ⅰ	1前	2				
英語技法特論Ⅱ			1後	2					兼1
MOT			1・2通	2					兼1
ファイバー基礎実習			1前	1					1 4 教員配置見直しのため(29) 兼4 教員配置見直しのため(28)
Textile FundamentalsⅠ			1後	2					兼1
研究室ローテーションⅠ			1通	1					兼1
ものづくり・ことづくり演習Ⅰ(チームワーキング)			1前	1					兼1
International Topics on Fiber EngineeringⅠ			1通	3					兼1
英語技法特論Ⅲ			2前	2					兼1
英語技法特論Ⅳ			2後	2					兼1
ファイバーイノベーション概論			2前	2					兼1
Textile FundamentalsⅡ			2後	2					兼1
研究室ローテーションⅡ			2通	1					兼1
ものづくり・ことづくり演習Ⅱ(チームワーキング)		2前	1					兼1	
International Topics on Fiber EngineeringⅡ		2通	3					兼1	
共通科目		テキスタイル基礎実習	1後	1					通前 1 時間割調整のため(29) 兼2 教員配置見直しのため(29) 兼2 時間割調整のため(28)
		繊維・ファイバー工学特別実験	2前	1					1 2 教員配置見直しのため(29) 兼4 教員配置見直しのため(28)
ファイバー分野		サブライチェーン	1通	2					兼1
		プロダクトデザイン	1前	2					兼1 時間割調整のため(28)
		マーケティング	1後	2					兼1
		知的財産	1通	2					兼1
		工業経済学	1通	2					兼1
		科学哲学	1後	2					兼1
	日本文化論	1前	2					兼1	
	比較文化論	1前	2					兼1	
	技術者倫理	1後	2					兼1	
バイオ・メディカル分野	ナノファイバー工学特論	1後	2					兼1	
	ヤーンテクノロジー	1前	2					兼1 時間割調整のため(28)	
	高機能繊維設計特論	1前	2					兼1	
	高性能繊維設計特論	1前	2					兼1	
	ナノマテリアル工学特論	1後	2					兼1	
	機能高分子工学特論	1前	2					兼1	
バイオ・メディカル分野	シルク利用工学	1後	2					兼1	
	バイオフィ이버科学	1前	2					兼2	
	医用材料特論	1後	2					兼1	
	繊維生物資源学	1前	2					兼1	
	生体分子機能科学	1後	2					兼1 時間割調整のため(28)	
	バイオマス利用工学	1前	2					兼1	
バイオミメティック科学	1通	2					兼1 時間割調整のため(28)		

スマート タイル分 野テキ ス	複合材料設計学特論	1後	2						兼 1
	e-Textile設計特論	1後	2						兼 1
	プロテクティブテキスタイル特論	1後	2						兼 3
	テキスタイルデザイン特論	1後	2						兼 1
	先進繊維計測学特論	1前	2						兼 1
	繊維集合体特論	1後	2						兼 1
感性・ 工学分 野フ ァッ シ ョ ン	ファッションデザイン論	1後	2						兼 1 時間割調整のため(28)
	衣服設計論	1後	2						兼 2
	感性情報工学特論	1前	2						兼 1
	感性製品計測・評価法特論	1後	2						兼 3 兼 4 教員配置見直しのため(29)
	製品生理学特論	1後	2						兼 1 時間割調整のため(29)
	繊維製品生産論	1後	2						兼 1

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 37	科目 95	科目 0	科目 132	科目 37 [0]	科目 95 [0]	科目 0 [0]	科目 132 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{132} = \boxed{0.00} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	539,062㎡	0㎡	0㎡	539,062㎡			
	運動場用地	208,855㎡	0㎡	0㎡	208,855㎡			
	小 計	747,917㎡	0㎡	0㎡	747,917㎡			
	そ の 他	5,693,687㎡	0㎡	0㎡	5,693,687㎡			
	合 計	6,441,604㎡	0㎡	0㎡	6,441,604㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		434,207㎡ (434,207㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	434,207㎡ (434,207㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		85室	191室 188室	370室	5室 (補助職員 3人)	1室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		総合理工学研究科 生命医工学専攻			25 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	総合理工学研究科 生命医工学専攻	1,228,958 [360,852] (1,228,958 [360,852])	26,443 [9,045] (26,443 [9,045])	13,857 [12,632] (13,857 [12,632])	4,110 (4,110)	60,443 (60,443)	147,479 (147,479)	
	計	1,228,958 [360,852] (1,228,958 [360,852])	26,443 [9,045] (26,443 [9,045])	13,857 [12,632] (13,857 [12,632])	4,110 (4,110)	60,443 (60,443)	147,479 (147,479)	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		13,304㎡		1,611席	980,254冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
		8,085㎡		プール	武道場・弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.06	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	920	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大学西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	2年次 10	210	学士(経済学)	1.11	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	2年次 10	170	学士(法学)	1.09	〃	〃	
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 1	163	〃	1.03	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	3年次 3	456	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	715	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	〃
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	〃
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.01	平成15年度	〃	〃
理学療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度	〃	〃
作業療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士(保健学)	1.09	平成15年度	〃	〃

工学部									
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度	〃	〃
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
物質化学科	4	95		190	学士(工学)	1.03	平成28年度	〃	〃
電気情報システム工学科	4	170		340	〃	1.03	〃	〃	〃
水環境・土木工学科	4	60		120	〃	1.08	〃	〃	〃
機械システム工学科	4	100		200	〃	1.07	〃	〃	〃
建築学科	4	60		120	〃	1.06	〃	〃	〃
農学部									
食料生産科学科	4	—		—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—		—	〃	—	〃	〃	〃
応用生命科学科	4	—		—	〃	—	〃	〃	〃
農学生命科学科	4	170	3年次 ₆	516	〃	1.05	平成27年度	〃	〃
繊維学部									
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃	〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65		130	学士(工学)	1.05	平成28年度	〃	〃
機械・ロボット学科	4	60		120	〃	1.06	〃	〃	〃
化学・材料学科	4	105		210	〃	1.00	〃	〃	〃
応用生物科学科	4	50		100	学士(農学)	1.08	〃	〃	〃

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	〃	1.10	〃	〃	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		40	修士(教育学)	1.30	平成3年度	長野県長野市大字西長野6の口	
高度教職実践専攻	2	20		40	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	〃	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.83	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.65	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
地球生物圏科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃
電気電子工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
土木工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
建築学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
情報工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
環境機能工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
繊維・感性工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	〃
機械・ロボット学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
化学・材料専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	〃	〃	〃
農学研究科									
森林科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成4年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		150	修士(理学)	0.85	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		480	修士(工学)	1.03	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		320	修士(工学) 修士(農学)	1.15	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		130	修士(農学)	0.93	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		70	修士(医工学)	1.18	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科									
医科学専攻（修士課程）	2	12		24	修士(医科学)	0.87	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14		28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.24	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40		160	博士(医学)	1.01	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8		32	〃	0.81	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4		12	博士(保健学)	1.16	平成21年度	〃	
総合工学系研究科									
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15		45		0.95	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12		36		0.99	〃		
物質創成科学専攻	3	7		21	博士(学術) 博士(理学) 博士(工学)	0.85	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	
山岳地域環境科学専攻	3	8		24	博士(農学)	0.70	〃		
生物・食料科学専攻	3	7		21		0.99	〃		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜総合理工学研究科 生命医工学専攻＞

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	秋山 佳文	平成28年4月	力学基礎Ⅰ 生体医工学特論 生体マイクロデバイス特論 生体医工学演習Ⅰ 生体医工学演習Ⅱ 生体医工学演習Ⅲ 生体医工学演習Ⅳ 生体工学特別実験Ⅰ 生体工学特別実験Ⅱ 生体工学特別実験Ⅲ 生体工学特別実験Ⅳ					力学基礎Ⅰ	平成29年4月 教員配置見直しのため教員削除(29)当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
					専	准教授	阿部 誠	平成29年4月	生命工学演習Ⅰ 生命工学演習Ⅱ 生命工学演習Ⅲ 生命工学演習Ⅳ 生命工学特別実験Ⅰ 生命工学特別実験Ⅱ 生命工学特別実験Ⅲ 生命工学特別実験Ⅳ	平成29年4月から 教員配置見直しのため教員追加(29)
専	講師	羽二生 久夫	平成28年4月	生物学基礎Ⅰ 生物学基礎Ⅱ 生体医工学特論 生体応答学特論 生体医工学演習Ⅰ 生体医工学演習Ⅱ 生体医工学演習Ⅲ 生体医工学演習Ⅳ 生体工学特別実験Ⅰ 生体工学特別実験Ⅱ 生体工学特別実験Ⅲ 生体工学特別実験Ⅳ	専	准教授	羽二生 久夫	平成28年4月		平成28年4月准教授昇進(28)
専	助教	米倉 真一	平成28年4月	先進応用生命科学特論	専	准教授	米倉 真一	平成28年4月	食料機能学総論	平成28年4月准教授昇進(28) 平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加(28)
専	助教	富岡 郁夫	平成28年4月	生命工学特論 生命情報科学特論 生命工学演習Ⅰ 生命工学演習Ⅱ 生命工学演習Ⅲ 生命工学演習Ⅳ 生命工学特別実験Ⅰ 生命工学特別実験Ⅱ 生命工学特別実験Ⅲ 生命工学特別実験Ⅳ					生命工学演習Ⅰ 生命工学演習Ⅱ 生命工学演習Ⅲ 生命工学演習Ⅳ 生命工学特別実験Ⅰ 生命工学特別実験Ⅱ 生命工学特別実験Ⅲ 生命工学特別実験Ⅳ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28)当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
専	助教	梅澤 公二	平成28年4月	生命情報科学特論 生命工学特論 生命工学演習Ⅰ 生命工学演習Ⅱ 生命工学演習Ⅲ 生命工学演習Ⅳ 生命工学特別実験Ⅰ 生命工学特別実験Ⅱ 生命工学特別実験Ⅲ 生命工学特別実験Ⅳ					生命工学特論 生命工学演習Ⅰ 生命工学演習Ⅱ 生命工学演習Ⅲ 生命工学演習Ⅳ 生命工学特別実験Ⅰ 生命工学特別実験Ⅱ 生命工学特別実験Ⅲ 生命工学特別実験Ⅳ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除(28)当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
専	助教	水野 正浩	平成28年4月	生命工学特論 先進生命化学特論 生命工学演習Ⅰ 生命工学演習Ⅱ 生命工学演習Ⅲ 生命工学演習Ⅳ 生命工学特別実験Ⅰ 生命工学特別実験Ⅱ 生命工学特別実験Ⅲ 生命工学特別実験Ⅳ	専	准教授	水野 正浩	平成29年4月		平成29年4月准教授昇進(29)

専	助教	森山 徹	平成28年4月	生体医工学特論 動物行動学特論 生体医工学演習Ⅰ 生体医工学演習Ⅱ 生体医工学演習Ⅲ 生体医工学演習Ⅳ 生体医工学特別実験Ⅰ 生体医工学特別実験Ⅱ 生体医工学特別実験Ⅲ 生体医工学特別実験Ⅳ	専	准教授	森山 徹	平成29年4月		平成29年4月准教授昇進 (29)
					専	助教	塚原 淳	平成28年4月	生体医工学特論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					専	助教	岩本 憲泰	平成29年4月	生体医工学特論	平成29年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (29)
兼担	教授	倪 慶清	平成28年4月	エネルギー材料科学特論Ⅱ					エネルギー材料科学特論Ⅱ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除 (28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
兼担	教授	鮑 力民	平成28年4月	エネルギー材料科学特論Ⅱ					エネルギー材料科学特論Ⅱ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除 (28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
兼担	教授	中村 宗一郎	平成28年4月	食料機能学総論 食資源利用学総論 フードビジネス総論 食料生命科学総論					食料機能学総論 食資源利用学総論 フードビジネス総論 食料生命科学総論	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除 (28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
兼担	教授	南 峰夫	平成28年4月	食料機能学総論					食料機能学総論	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除 (28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
兼担	教授	水品 善之	平成28年4月	生命産業科学特論						平成27年9月教授就任辞退 (28) 「生命産業科学特論」については他に担当教員がいるため支障はない。
兼担	教授	佐々木 隆	平成28年4月	地域課題探究演習Ⅰ 地域課題探究演習Ⅱ 特別研究						平成29年3月定年退職 (29) 「地域課題探究演習Ⅰ」、「地域課題探究演習Ⅱ」、「特別研究」については他に担当教員がいるため支障はない。
兼担	教授	高寺 政行	平成28年4月	ファイバー基礎実習 繊維・ファイバー工学特別実験					ファイバー基礎実習 繊維・ファイバー工学特別実験	平成29年4月 教員配置見直しのため教員削除 (29) 当該科目は他の教員がいるため支障はない。
兼担	教授	石澤 広明	平成28年4月	ファイバー基礎実習					ファイバー基礎実習	平成29年4月 教員配置見直しのため教員削除 (29) 当該科目は他の教員がいるため支障はない。
					兼担	教授	石田 文宏	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	教授	金井 誠	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	教授	中沢 洋三	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	教授	池上 俊彦	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	教授	杉山 暢宏	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	教授	岡本 拓也	平成28年4月	研究者倫理特別講義 (CITI-Japan)講義 科学技術政策特論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	教授	細谷 聡	平成29年4月	感性製品計測・評価法特論	平成29年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (29)
					兼担	教授	齊藤 保典	平成28年4月	水環境科学特論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
兼担	准教授	夏木 俊明	平成28年4月	エネルギー材料科学特論Ⅱ					エネルギー材料科学特論Ⅱ	平成28年4月 教員配置見直しのため教員削除 (28) 当該科目は他に担当教員がいるため支障はない。
兼担	准教授	KIM KYOUNG HOU	平成28年4月	ファイバー基礎実習					ファイバー基礎実習	平成29年4月 教員配置見直しのため教員削除 (29) 当該科目は他の教員がいるため支障はない。
					兼担	准教授	吉村 康夫	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	准教授	青木 薫	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	准教授	吉田 宏昭	平成29年4月	感性製品計測・評価法特論	平成29年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (29)
					兼担	講師	伊東 清志	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)
					兼担	講師	瀬戸 達一郎	平成28年4月	臨床医学概論	平成28年4月から 教員配置見直しのため教員追加 (28)

					兼任	講師	塚田 益裕	平成29年4月	海外履修・ファイバー工学専修Ⅰ	平成29年4月から 教員配置見直しのため教員追加(29)
兼任	助教	江田 慧子	平成28年4月	地域課題探究演習Ⅰ 地域課題探究演習Ⅱ 特別研究						平成28年3月助教就任辞退(28) 「地域課題探究演習Ⅰ」、「地域課題探究演習Ⅱ」、「特別研究」については他に 担当教員がいるため支障はない。
兼任	助教	KIM KYOUNGOK	平成28年4月	テキスタイル基礎実習					テキスタイル基礎実習	平成29年4月 教員配置見直しのため教員削除(29)当該 科目は他の教員がいるため支障はない。

- (注)
- ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)を受けてください。**A0教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A0)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
5	4	2
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
9	6	1	6	22	9	10	0	6	25	9	10	0	6	25
(9)	(8)	(0)	(8)	(25)						[0]	[4]	[Δ1]	[Δ1]	[3]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
22	0	0			22	3	0			22	3	0		
(21)	(0)	(4)								[0]	[3]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
					該当なし					
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
					該当なし					
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)						
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">該当なし</div>	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年7月)			該当なし	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)			該当なし	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<総合理工学研究科 生命医工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
学生・教務委員会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
審議事項があるとき開催
- c 委員会の審議事項等
専攻の学生及び教務に関する事項

信州大学大学院総合理工学研究科生命医工学専攻に置く会議の運営に関する内規
(平成28年6月1日 生命医工学専攻会議 決定)

(趣旨)

第1条 この内規は、信州大学大学院総合理工学研究科委員会規程(以下「委員会規程」という。)第8条第2項の規定に基づき、生命医工学専攻(以下「専攻」という。)に設置する会議の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

[専攻会議]

(所掌事項)

第2条 専攻会議は、委員会規程第9条の規定に基づき、専攻の運営に関する事項を審議し、必要な事項を処理する。

(議事)

第3条 専攻会議は、委員会規程第8条に規定する教員(以下「専任教員」という。)の3分の2以上の出席がなければ、議事を開くことができない。

2 専攻会議の議事は、出席専任教員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。(専任教員以外の者の出席)

第4条 議長が必要と認めるときは、専攻会議に専任教員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

[専攻会議の下に置く委員会等]

(専攻会議の下に置く委員会)

第5条 専攻会議の下に、学生・教務委員会及び入試委員会を置く。

(所掌事項)

第6条 学生・教務委員会は、専攻の学生及び教務に関する事項をつかさどる。

2 入試委員会は、専攻の入試に関する事項をつかさどる。

(組織)

第7条 学生・教務委員会及び入試委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 各キャンパスから選出された専任教員 各1名
 (2) その他委員会が必要と認める者
 2 前項に規定する委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。
 3 第1項に規定する委員に欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 (委員長及び副委員長)
 第8条 学生・教務委員会及び入試委員会には、委員長及び副委員長を置く。
 2 委員長及び副委員長は、各委員会において委員の中から互選によって定める。
 3 委員長及び副委員長の任期は1年とする。
 4 委員長は、その所掌する委員会を招集し、その議長となる。
 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。
 (議事)
 第9条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開くことができない。
 (委員以外の者の出席等)
 第10条 委員会が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。
 (専攻会議の下に置くワーキンググループ)
 第11条 専攻会議に、専門的事項を審議するとともに必要な事項を処理するため、必要に応じ、ワーキンググループを置くことができる。
 2 ワーキンググループに関し、必要な事項は、別に定める。
 [分野会議]
 (所掌事項)
 第12条 分野会議は、委員会規程第13条の規定に基づき、分野の運営に関する事項を審議し、必要な事項を処理する。
 (議事)
 第13条 分野会議は、委員会規程第12条に規定する教員(以下「専任教員」という。)の3分の2以上の出席がなければ、議事を開くことができない。
 2 分野会議の議事は、出席専任教員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 (専任教員以外の者の出席)
 第14条 議長が必要と認めるときは、分野会議に専任教員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。
 [その他]
 (庶務)
 第15条 専攻に設置する会議の庶務は、学務部学務課大学院室において行う。
 (雑則)
 第16条 この内規に定めるもののほか、専攻に置く会議の運営に関し必要な事項は、別に定める。
 附 則
 この内規は、平成28年6月1日から施行する。

② 実施状況

a 実施内容

- ・参加型授業が必要な理由と参加型授業の運営の仕方について
- ・障害学生支援の法的背景と信州大学の実情
- ・シラバス作成及び今後のシラバス点検に関する説明会
- ・学生の自主学習を促すためのIT活用方法について
- ・授業用資料の著作権について
- ・ポートフォリオの活用方法について
- ・平成28年度信州大学FDカンファレンス
- ・CITI Japan (e-Learning) の受講

b 実施方法

- ・教授会前に実施
- ・CITI Japan (e-Learning) は、教員各自が受講

c 開催状況(教員の参加状況含む)

各キャンパスごとに実施されるFDにそれぞれ参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD内容に基づき授業改善へ反映させている。今後は、大学院教育に特化した内容のFDについて、検討していきたい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成28年度は、設置初年度のため、実施できなかったが、平成29年度は実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートはWEBで実施予定。アンケート結果については、WEB上で学生、授業担当教員の両方とも、閲覧できるようにする。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、設置計画どおりに進め、当初設定したとおりに実現している。

医学と理工農学連携による新たに生命医工学専攻を設置し、「臨床医学概論」、「医療倫理学・社会医工学」などの研究科共通科目・専攻共通科目を設定したことにより、自分の研究分野だけでなく理工農医学系分野に関する周辺領域の知識を学生に身につけさせることが可能となった。専攻内に「分野」を設けて、学部内の課程教育との接続性を明確にしたことにより、6年一貫教育を推進する体制を構築できた。

今後は、更なる教育・研究水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け、引き続き取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- 1) 平成29年度以降
- 2) 平成32年5月 公表予定

b 公表方法

- 1) 大学で実施する自己点検・評価に基づき、各事業年度及び中期目標期間内における業務実績に係る「自己点検評価報告書」を作成し大学ホームページ上に公表する。
- 2) 大学全体において自己点検・評価を行い、大学ホームページ上に公表する。

③ 認証評価を受ける計画

- ・大学全体において、平成31年度に外部評価を含む自己点検評価を行うとともに、平成32年度に機関別認証評価を受審する予定である。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年6月1日公表予定)